SONY

2-024-558-**03** (1)

Hi-MD デスクトップオーディオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Hi-MD AUDIO　MiniDisc　Net MD　MDLP　COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT
Atrac3plus　vpt speakers
SoundGate

LAM-X1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネット、電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く　指示

お使いになる前に

この取扱説明書では、Hi-MDデスクトップオーディオ本体の使いかたを説明しています。
パソコンとつないで使う基本的な操作や、ソフトウェアの詳しい操作についてはそれぞれのマニュアルがあります。下記を参照して必要なマニュアルをお使いください。

本体を使うときは

■ 取扱説明書（本書）

本体の操作全般についてのマニュアルです。本体の操作について詳しくはこちらをご覧ください。



● 本体とリモコンでの操作について

本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体での操作のしかたは、リモコンと違う場合に明記してあります。
「各部のなまえ」（18〜21ページ）も併せてご覧ください。

本体をパソコンにつないで使うときは

■ ソフトウェア　インストール・操作ガイド

SonicStage Ver. 2.1
SonicStageソフトウェアのインストール方法と基本的な操作について説明しています。



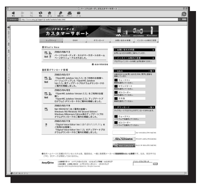
■ SonicStage Ver. 2.1ヘルプ

パソコンの画面で見る電子マニュアルです。付属のソフトウェアSonicStageの中に入っています。
SonicStageの使いかたについて、「インストール・操作ガイド」よりもさらに詳しく説明しています。また、SonicStageをご使用中に困ったことがあった場合も、こちらをご覧ください。



■ パーソナルオーディオ・カスタマーサポート

インターネット上のホームページです。本機と付属のSonicStageソフトウェアの最新サポート情報を見ることができます。
http://www.sony.co.jp/support-pa/



目次

警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



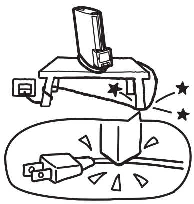
禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

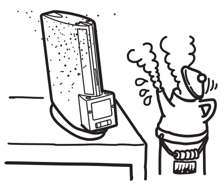
万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

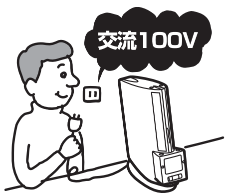
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

海外では使用しない

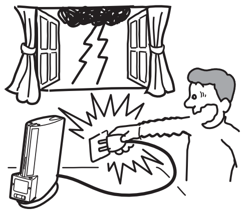
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



指示

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。





接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。





ぬれ手禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。





禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

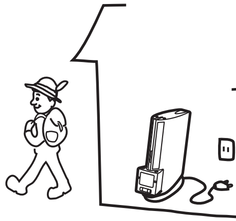


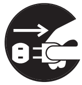


分解禁止

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

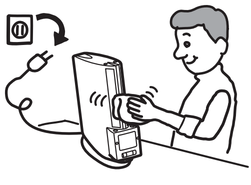


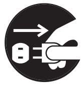


プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

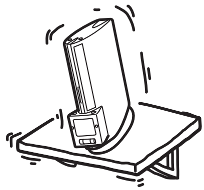




プラグをコンセントから抜く

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。
また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。





禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

CDパネル、MDパネルなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、ディスクが内部に落ち故障の原因となったり、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ•破裂•発熱•発火•誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険 ボタン型電池が液漏れしたとき

ボタン型電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告 ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意 ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

付属のソフトウェアについて

□権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
□本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
□万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
□本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
□本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
□本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、Hi-MD、Net MD、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、Sound Gate およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft 、Windows およびWindows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では™、®マークは明記していません。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データ内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。なお、この商品の価格には、著作権上の定めにより、私的録音保証金が含まれております。
  （お問い合わせ先（社）私的録音保証金管理協会　Tel.03-5353-0336）

Hi-MDでこんなことができます!

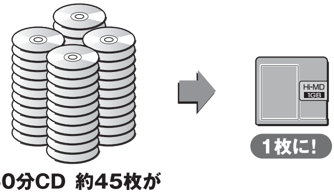
“Hi-MD”とは、従来のMDが進化した新しい規格です。

ディスク1枚にたくさんの音楽データを入れる

Hi-MD規格専用1GBディスクに最大45時間の録音が可能です。従来の60/74/80分ディスクも記録密度を約2倍にして録音することができます。1枚のディスクにたくさんの音楽データが入るので持ち運びも便利です。

1枚のディスクに記録できる時間[1]	
1GBディスク	**約45時間（CD約45枚分[2]）**
80分ディスクの容量倍増	**約13.5時間（CD約13枚分[2]）**

1）パソコンから音楽データを転送した場合（ATRAC3plus/48kbps）
2）CD1枚約60分の場合



従来の サウンドゲートでは…… 80分ディスクで最大約5時間20分の録音時間（MDLPのLP4モードで録音した場合）

高音質録音・再生を楽しむ

リニアPCMとATRAC3plusの技術により、高音質での録音・再生を楽しむことができます。

リニアPCM

CDと同じ音質で
デジタル圧縮しない記録方式

ATRAC3plus

高音質と高圧縮を
両立させた音声圧縮技術

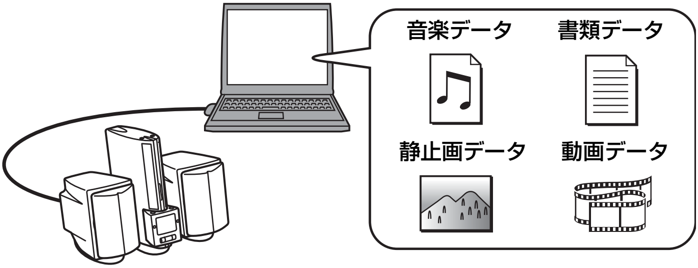


従来の サウンドゲートでは…… ATRAC/ATRAC3での録音・再生

従来の60/74/80分ディスクもお使いいただけます。

音楽データの他に書類・画像データも記録

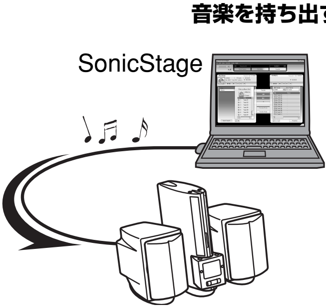
パソコンのデータをドラッグ＆ドロップの簡単操作でディスクに保存できます。

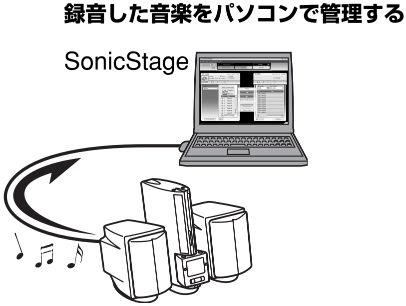


従来の サウンドゲートでは…… 音楽データのみ記録

パソコンと双方向でデータを転送

付属のSonicStageソフトウェアを使ってパソコンから音楽を高速で転送できるほかに、サウンドゲートで録音した音楽をパソコンに転送し、管理することができます。





従来の サウンドゲートでは…… Net MD対応では、パソコンから音楽データをサウンドゲートに転送し、再生

使用可能なデータとディスクの種類

本機では、以下のディスクの演奏が可能です。

- MD（60/74/80分ディスク）
- Hi-MD規格専用1GBディスク
- 音楽CD（CDDA*フォーマット）
- ATRAC3plus（アトラックスリープラス）/ATRAC3（アトラックスリー）フォーマットのファイルが入ったCD (ATRAC CD）
- MP3フォーマットのファイルが入ったCD (MP3 CD）

＊CDDAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般音楽CDに使用されている、音楽収録用の規格です。

使用できるCDのディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/2フォーマットとJoliet拡張フォーマットおよびUDF Ver. 1.5です。

CD-R/RWについて

本機は、ATRAC3plus/ATRAC3、MP3、CDDAフォーマットで記録されたCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスクを演奏することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては演奏できない場合があります。

ご注意

本機にはCD書き込み機能はありません。

著作権保護技術付音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で演奏できない場合があります。

DualDiscについて

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠したディスクの再生を前提として、設計されています。本製品において万一、DualDiscの音楽専用面の再生を試みた場合、DualDiscのDVD面に再生において問題となる傷を生じる可能性がありますので、本製品ではDualDiscはご使用になれません。

ATRAC3plus/ATRAC3

「ATRAC3plus（アトラックスリープラス）」は「Adaptive Transform Acoustic Coding3plus」の略で、「ATRAC3」をさらに発展させたオーディオ圧縮技術です。Hi-SP/Hi-LPステレオモードで使われます。高音質と高圧縮を両立させ、音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64 kbpsのとき）に圧縮することが可能となります。

「ATRAC3（アトラックスリー）」は、「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。LP2/LP4ステレオモードで使われます。音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。

メディアに書き込むファイルについてのご注意

ATRAC3plus/ATRAC3の記録されているCD-R/RWには、ATRAC3plus/ATRAC3/MP3以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。

MP3

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音楽圧縮の規格。音声データをCDの約10分の1に圧縮できます。
使用できるディスクフォーマットの主な規格は次のとおりです。

- 最大ディレクトリー階層：8階層
- 使用可能文字：英数字、記号、漢字、ひらがな、カタカナ

ご注意

- ファイルになまえを付けるときは、「mp3」（大文字でも可）の拡張子を付けてください。
- MP3ファイルではないファイルに「mp3」の拡張子を付けると、本機はそのファイルを正しく認識することができません。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

- 本機で演奏できるビットレートは、8～320 kbps、サンプリング周波数は、8/11.025/12/16/22.025/24/32/44.1/48 kHzで、可変ビットレート（VBR）にも対応しています。
  可変ビットレート（VBR）で作成されたファイルを再生するときは再生経過時間表示の進み方が一定にならない場合があります。
  また、低サンプリング周波数、低ビットレートで作成されたファイルを再生するときは、音にならない場合があります。
  MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの設定は「44.1 kHz」、「128 kbps」の「固定ビットレート」を推奨します。

メディアに書き込むファイルについてのご注意

- ディスクが挿入されると本機はディスクに記録されている全フォルダ、全ファイルの情報を読み込みます。ディスクに多くのフォルダがある場合、演奏開始までに時間がかかることがあります。

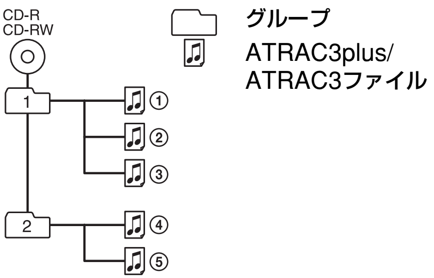
ATRAC3plus/ATRAC3とMP3のファイル構造

グループとフォルダ

ATRAC3plus/ATRAC3は、「グループ」と「ファイル」から成り立つ、非常に簡単な構造になっています。「ファイル」は音楽CDの「曲」に相当し、「グループ」はファイルを束ねたもので、音楽CDの「アルバム」に相当します。「グループ」には、ディレクトリー構造という概念はありません。グループの中にグループを作ることはできません。
MP3ファイルが記録されたCDでも、「ファイル」は「曲」に、「グループ」は「アルバム」になります。本機では、MP3のフォルダも「グループ」と認識し、同じ操作で使用できます。

ATRAC3plus/ATRAC3/MP3の構造と演奏順

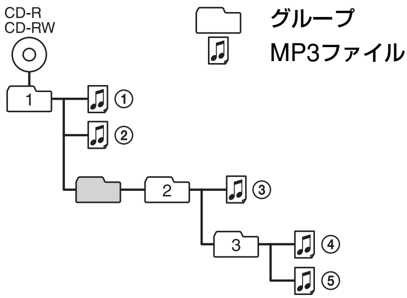
•ATRAC3plus/ATRAC3



使用できるグループ数とファイル数

- 最大グループ数：255
- 最大ファイル数：999

•MP3



使用できるグループ数とファイル数

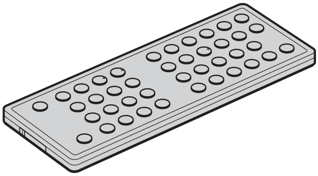
- 最大グループ数：512
- 最大ファイル数：9999

ご注意

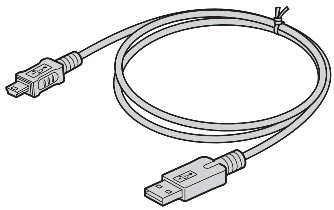
- MP3ファイルを含まないグループはとばして演奏します。
- ATRAC3plus/ATRAC3ファイルとMP3ファイルが混在したCDでは、ATRAC3plus/ATRAC3ファイルを先に演奏します。
- MP3ファイルは書き込みの方法によってファイルを書き込んだ順番と演奏の順番が異なる場合があります。
- オーディオトラック（CDDA）とMP3ファイルが混在したディスクでは、すべてのオーディオトラックがひとつのグループとして扱われます。
- 本機では、グループ名とファイル名はそれぞれ126文字まで表示できます。

付属品を確かめる

●リモコン



●専用USBケーブル



●CD-ROM（SonicStage Ver. 2.1）
●LAM-X1取扱説明書・保証書
●ソフトウェア　インストール・操作ガイド SonicStage Ver. 2.1
●カスタマー登録のご案内
●ソニーご相談窓口のご案内

ご注意

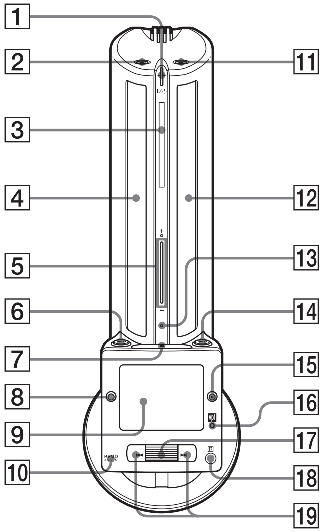
本機を初めてパソコンに接続するときは、接続前に、必ず付属のCD-ROMを使用してソフトウェア「SonicStage」と「Net MDドライバ」をインストールしてください。

各部のなまえ

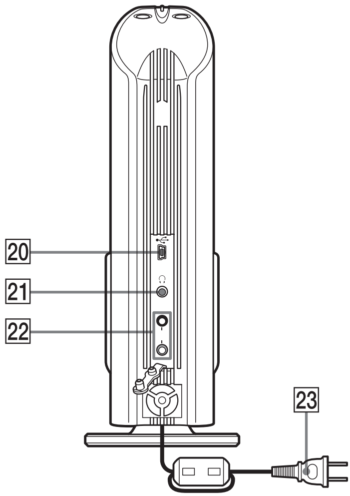
くわしい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

前面



後面



1 I/⏻（電源）スイッチ

2 ⏏（MD取り出し）ボタン

3 電源ランプ

4 MDパネル（26、32）

　ボリューム
5 VOL（音量）ボタン*1

6 MD▶II（再生／一時停止）ボタン*2

7 ■（停止）ボタン

8 PC MODE（MD）ボタンとランプ
パソコンと接続するときに使います（76）。

9 表示窓（19）

10 Hi-MDランプ

11 ⏏（CD取り出し）ボタン

12 CDパネル（24、26）

　ビジー
13 BUSYランプ

14 CD▶II（再生／一時停止）ボタン*2

　ハイ　スピードレコーディング
15 HIGH SPEED RECボタンとランプ
CDからMDへのシンクロ録音を高速で行います（29、50、51、52）。

16 vpt（サラウンド）ランプ（68）

17 ジョグダイヤル（ENTER/MENU）（39、40）

18 リモコン受光部

19 ⏮、⏭（AMS／サーチ）ボタン
CD、MDの曲の頭出しをします（25、33）。
再生中にボタンを押し続けると、曲中の好きなところを探すことができます（36）。

20 USB端子
付属の専用USB接続ケーブルを使って、パソコンと接続します（74）。

21 ∩ PHONES（ホーンズ）端子
ヘッドホン（別売り）を接続します。

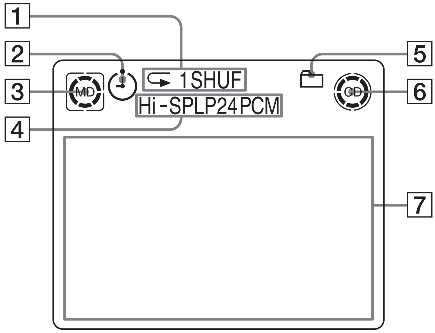
22 SPEAKER（スピーカー） OUT（アウト）端子
付属のスピーカーを接続します（22、23）。

ご注意
ヘッドホンをSPEAKER OUT端子に接続しないようご注意ください。ヘッドホンの故障の原因となります。

23 電源コード

*1 VOL「+」の方向に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
*2 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓



1 再生モード表示

2 タイマー動作中表示

3 MDディスク表示

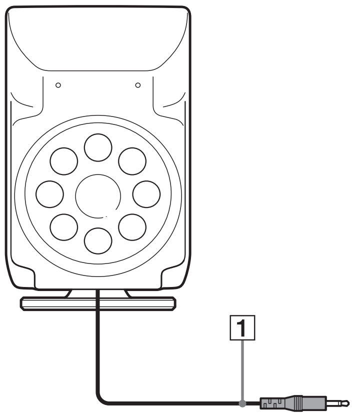
4 録音モード表示

5 グループ表示

6 CDディスク表示

7 文字情報表示部

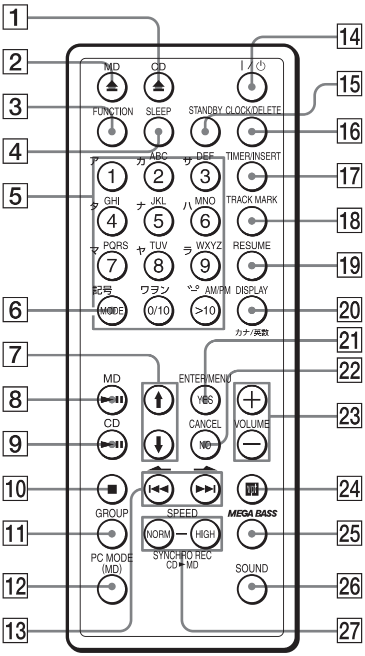
スピーカー



1 スピーカーコード
本体のSPEAKER OUT端子に接続します（22、23）。
赤いプラグのコードが出ているスピーカーを右のスピーカー、黒いプラグのコードが出ているスピーカーを左のスピーカーとします。

次のページへつづく

リモコン



1 ⏏CD（CD取り出し）ボタン

2 ⏏MD（MD取り出し）ボタン

3 FUNCTION（ファンクション）ボタン（27、39、52）
音源の切り替えに使います。
押すたびにMDとCDが切り替わります。

4 SLEEP（スリープ）ボタン
音楽を聞きながら眠るときに使います（73）。

5 数字／文字ボタン
CD・MDのダイレクト選曲、MDの文字入力や時計、タイマーの設定に使います（35、64、65、70、72）。

6 MODE（モード）ボタン
CD・MDの再生方法を切り換えます。
短く押したとき
　通常再生（47、48）
　一曲再生（47、48）
　シャッフル再生（47、48）
2秒以上押し続けたとき
　リピート再生（48）

7 ↑、↓ボタン
メニュー設定項目や曲、グループを選びます（40）。

8 MD▶II（再生／一時停止）ボタン*

9 CD▶II（再生／一時停止）ボタン*

10 ■（停止）ボタン

11 GROUP（グループ）ボタン
グループを選ぶときに使います（34、44）。

12 PC MODE（MD）ボタン
パソコンと接続するときに使います（76）。

13 ⏮、⏭（AMS/サーチ）•◀━、━▶ボタン（23、25、33、36、61、64、72）

14 I/⏻（電源）ボタン

15 STANDBY（スタンバイ）ボタン
タイマーの予約をするときに使います（72）。

16 CLOCK/DELETE（クロック／デリート）ボタン
時計の設定や、MDの文字入力に使います（64、70）。

17 TIMER/INSERT（タイマー／インサート）ボタン
タイマーの設定や、MDの文字入力に使います（64、71、72）。

18 TRACK MARKボタン
曲の途中にトラックマークをつけたり消したりします（60、61）。

19 RESUMEボタン
CD・MDのリジューム再生機能の切り換えに使います（25、33）。

20 DISPLAY•カナ／英数（表示切り換え•文字入力切り換え）ボタン
表示窓の情報の切り換えや、MDの文字入力をするときに入力モードを切り換えるのに使います（36〜39、64）。

21 YES•ENTER/MENU（決定）ボタン
メニュー設定モードにして選んだ項目を決定します（39、40）。

22 NO•CANCEL（取消し）ボタン
選んだ項目を取消します（40）。

23 VOLUME（音量）＋、－ボタン

24 vpt（サラウンド）ボタン（68）

25 MEGA BASSボタン（68）

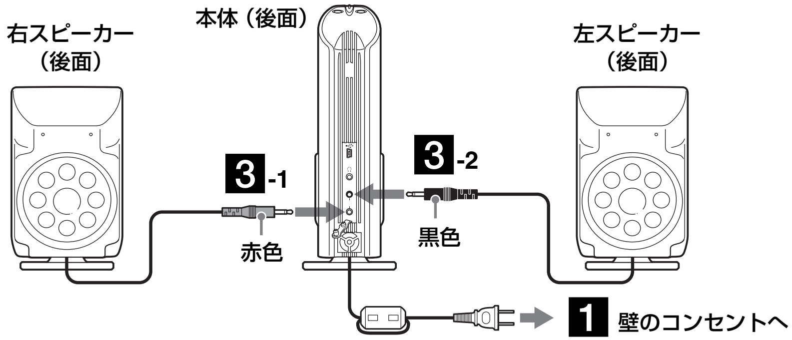
26 SOUNDボタン（68）

27 SYNCHRO REC CD►MDボタン
NORM SPEED（29、50、51、52）
HIGH SPEED（29、50、51、52）

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

接続する

コードはしっかり差し込んでください。間違った接続は誤動作の原因になります。

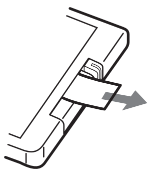


1 電源コードを接続する

本体から出ている電源コードのプラグを壁のコンセントへつなぎます。

2 リモコンの準備をする

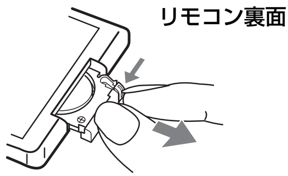
絶縁シートを引き抜いてリモコンを使用できる状態にする。
リモコンには電池がすでに入っています。



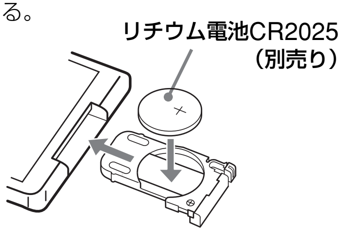
電池の交換について

電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。
下記の手順で、電池を新しいものと交換してください。ふつうの使い方で約6ヶ月もちます。

1 電池ケースを取り出す。



2 ＋と書かれた面を上にしてリチウム電池CR2025を新しい電池と取り換える。



3 電池ケースを元に戻す。

ご注意

- リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

3 スピーカーを接続する

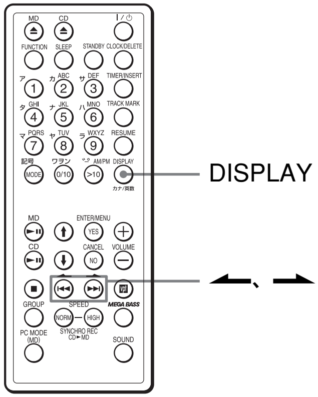
SPEAKER OUT端子のカバーを外します。

1 スピーカーから出ている、プラグが赤いスピーカーコードを本体のSPEAKER OUT R端子（赤い端子）に接続する（右のスピーカーになります）。

2 スピーカーから出ている、プラグが黒いスピーカーコードを本体のSPEAKER OUT L端子に接続する（左のスピーカーになります）。

表示窓のコントラストを調節する

表示窓のコントラストをお好みに合わせて調節できます。



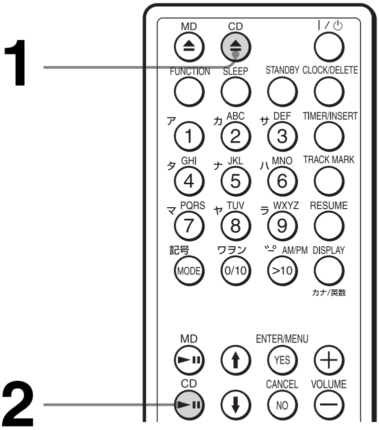
1 電源を切った状態でDISPLAYボタンを約2秒間押す。

「Contrast」の表示が出ます。

2 ←または→ボタンを押してコントラストを調節する。

コントラストの強弱を–7～+7の範囲で調節できます。

CDを聞く



CDパネルの開閉動作時に手などでパネルに力を加えないようにしてください。故障の原因になります。

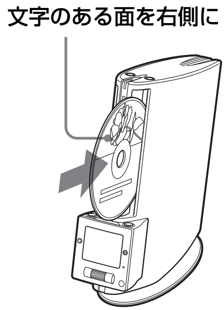
準備➡「接続する」(22、23ページ)をご覧ください。

1



≜CDボタンを押してCDパネルを開け、CDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。CDパネルが開いたら、CDのラベル面(文字のある面)を右側に向けて、スロットに差し込んでください。
CDを入れると、自動的にCDパネルが閉まります。

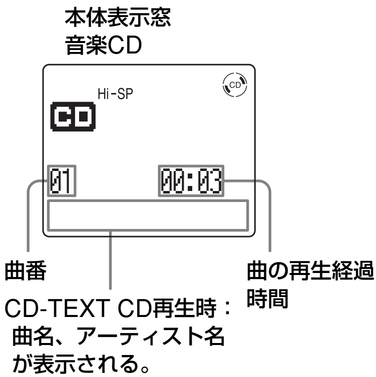


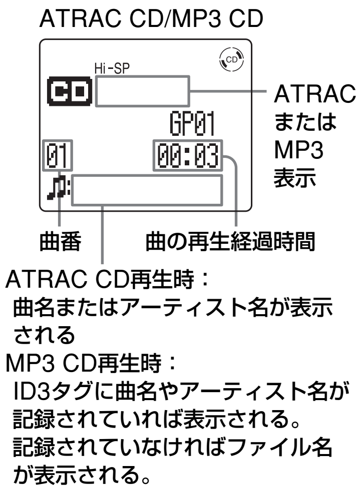
2



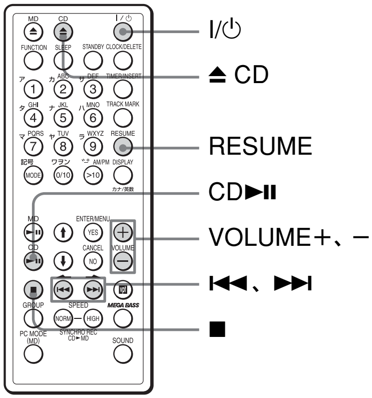
CD►IIボタンを押す。

再生が始まります。





その他の操作



こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOLUME＋、－
再生を止める	■
再生中に一時停止する	CD►II もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	I◄◄ 短くポンと押す。
次の曲へ進む	►►I 短くポンと押す。
CDを取り出す	⏏CD
電源を入/切する	I/⏻

再生を停止した曲からもう一度再生する（リジューム再生機能）

CDの再生を一度止めても、もう一度止めた位置から再生を始めることができます。

RESUMEボタンを押して「リジュームオン」を表示させます。表示窓に「R」が表示されます。停止中は表示窓に再生が始まる曲番とその演奏時間が表示されます。

リジューム再生機能を解除するには、リモコンのRESUMEボタンを押して「リジュームオフ」を表示させます。

►IIボタンを押し続けるとディスクの先頭から再生が始まります。

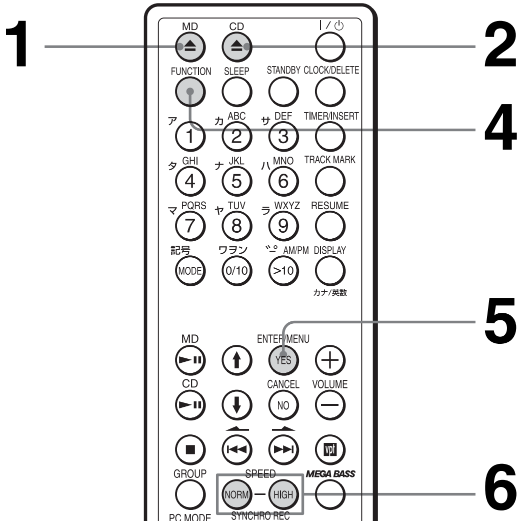
ご注意

- 8cm CDを再生するときはアダプタを使わないでください。8cm CDを入れるときは、スロットの中央部に差し込んでください。
- CDを取り出すとき、CDの動作状態によっては時間がかかることがありますが、故障ではありません。
- 8cm CDを取り出すとき、指紋や手の汚れがCDにつくことがあります。その場合は、「CDのお手入れのしかた」（93ページ）にある方法でCDの汚れを取ってください。

ちょっと一言

リジューム再生機能が「リジュームオン」に設定されているときにCDを取り出すか、停止中にもう一度■ボタンを押すと、次の再生は1曲目から始まります。

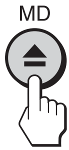
CDをまるごと録音する(シンクロ録音)



CDパネルおよびMDパネルの開閉動作時に手などでパネルに力を加えないようにしてください。故障の原因になります。

準備➡「接続する」(22、23ページ)をご覧ください。

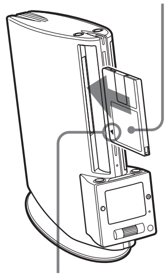
1



≜MDボタンを押してMDパネルを開け、録音用MDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。MDパネルが開いたら、MDのラベル面を左側に向けて、スロットに差し込んでください。

MDを入れると、自動的にMDパネルが閉まります。



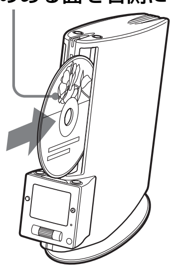
2



≜CDボタンを押してCDパネルを開け、CDを入れる。

ボタンを押してCDパネルが開いたら、CDのラベル面(文字のある面)を右側に向けて、スロットに差し込んでください。

CDを入れると、自動的にCDパネルが閉まります。



3

動作モードを確認する

本機は「Hi-MD」と「MD」の2つの動作モードを持っています。動作モードは、挿入されたディスクによって自動的に切り替わります。動作モードがHi-MDモードの場合は表示窓にHi-MDが表示されます。

- Hi-MD規格専用1GBディスクを入れた場合は、自動的にHi-MDモードになります。
- 従来の60/74/80分ディスクを入れた場合は、次のようになります。

ディスクの種類	動作モード
ブランクディスク	メニューの「ディスクモード」*の設定に従います。 お買い上げ時は「Hi-MD」に設定されています。 Hi-MDに対応していない他のMD機器でもディスクをお使いになる場合は、メニューの「ディスクモード」の設定を「MD」に変更してください。
Hi-MDモードで録音されたものが入っているディスク	Hi-MDモード
MDモードで録音されたものが入っているディスク	MDモード

* ディスクモードについて詳しくは、「ディスクモードを選ぶ」（66ページ）をご覧ください。

4

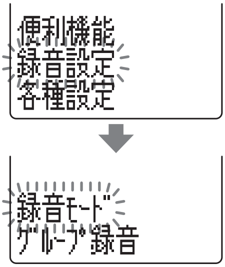
FUNCTION



FUNCTIONボタンを押して「CD」を表示させる。

次のページへつづく

5



メニューで録音モードを選ぶ。

① リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を2秒以上押してメニュー画面にします。
② リモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して「録音設定」を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定します。
③ 同じようにして「録音モード」を選び、決定します。
④ お好みの録音モードを選び、決定します。

Hi-MDモードでお使いのディスクに録音する場合

録音モード*[1]	表示	録音時間
リニアPCM録音	PCM	• 80分ディスクに約28分 • Hi-MD規格専用1GBディスクに約94分
Hi-SP録音	Hi-SP	• 80分ディスクに約140分 • Hi-MD規格専用1GBディスクに約475分
Hi-LP録音	Hi-LP	• 80分ディスクに約610分 • Hi-MD規格専用1GBディスクに約2,040分

*[1] より高音質の録音を行いたい場合は、PCM録音、Hi-SP録音を選んでください。

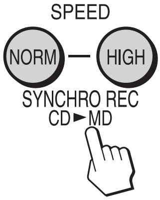
MDモードでお使いのディスクに録音する場合

録音モード*[2]	表示	録音時間*[3]
SP録音	SP	約80分
LP2録音	LP2	約160分
LP4録音	LP4	約320分

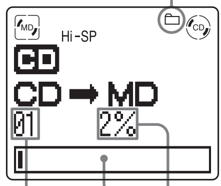
*[2] より高音質の録音を行いたい場合は、SP録音、LP2録音を選んでください。
*[3] 80分ディスク使用時。

メニュー操作のしかたは39～42ページもご覧ください。

6



高速録音するには、リモコンのHIGH SPEED SYNCHRO REC CD►MDボタンまたは本体のHIGH SPEED RECボタンを押す。（音楽を聞きながら通常の速度で録音するには、リモコンのNORM SPEEDボタンを押す。）



自動的に録音が始まります。高速録音のときは本体のHIGH SPEED RECランプが点灯します。

すでに録音してあるMDを入れたときは、録音部分の終わりから録音します。

高速録音中はスピーカーやヘッドホンから音は出ません。

次のページへつづく

CDをまるごと録音する（シンクロ録音）（つづき）

ちょっと一言

- 録音できるのはオーディオトラック（CDDA）だけです。その他の音楽ソース（ATRAC3plus、ATRAC3、MP3など）は録音できません。
- Hi-MD AUDIOまたはHi-MDロゴのある機器が「PCM」、「Hi-SP」、「Hi-LP」に対応しています。MDLPまたはMDLPロゴのある機器が「LP2」、「LP4」に対応しています。
- LP4録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。そのため、録音されるソースによってはごくまれに瞬間的なノイズが発生する恐れがあります。音質を重視される場合は、SP録音（SP）またはLP2録音（LP2）を推奨します。
- 音量や音質を調節しても録音される音には影響ありません。ただし、音量が大きすぎると、音とびの原因となることがありますのでご注意ください。
- 通常の速度で録音しているときには、DISPLAYボタンを押すとCDの再生時間が表示されます。
- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（70ページ）。
- 録音中に曲名、グループ名を付けることができます。Hi-MDの場合はアーティスト名、アルバム名も付けられます。63～65ページをご覧ください。
- CD TEXT対応のCDをMDに録音するときは、録音と同時にディスク名や曲名などの情報をMDに記録できます。

長時間録音について

MDモードでお使いのディスクには、通常のステレオ録音に加えて、録音時間を2倍（LP2）または4倍（LP4）長くしてステレオ録音することができます。
本機で長時間録音（「LP2」「LP4」）した内容は、長時間再生に対応していない他の機器では再生できません。

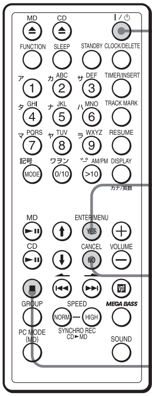
高速録音についてのご注意

- 同じ曲を続けて高速録音することはできません（HCMS: ハイスピードコピーマネージメントシステム、98ページ参照）。高速録音した曲が直前の74分以内に録音されたものだった場合は、その曲は通常の速度で録音されます。そのとき、スピーカーやヘッドホンから音は出ません。
  1枚のCDの中に何曲か高速録音した曲がある場合は、その曲だけが通常の速度で録音されます。
- 高速録音開始後74分以内に電源を切り、5秒以内に電源コードをコンセントから抜いたりすると、次に電源コードをつないだときからさらに74分間は同じ曲でなくても高速録音することはできません。
- 高速録音中に曲の途中で録音が止まると、その曲は録音されません。
- 高速録音中に、CDの汚れや傷などにより高速録音にエラーが生じた場合は、自動的に速度を落として録音します。

ご注意

- PCM録音で録音した長時間の曲をディバイドまたはコンバインの編集をするときは、本機を使って編集することをおすすめします。パソコンに曲を転送し、パソコン上で編集する場合、非常に時間がかかることがあります。
- 曲と曲の間に切れ目なく音楽が入っているCDを、Hi-SPやHi-LPで高速録音すると、曲間でノイズが入ることがあります。この場合は、通常の速度で録音してください。

その他の操作



こんなときは	押すボタン
録音を止める	■
電源を入/切する	I/⏻

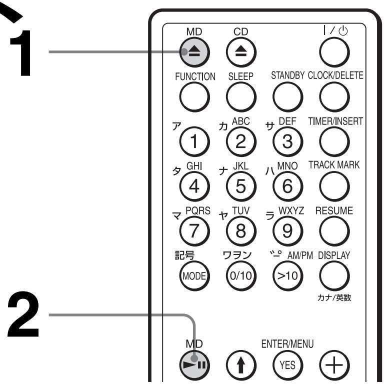
「CD > MD」が表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。

CDを最後まで録音できなくてもよいときは、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押します。録音をやめるときは、リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押します。

その他のメッセージが表示されたときは86～92ページをご覧ください。

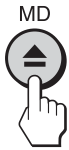
MDを聞く



MDパネルの開閉動作時に手などでパネルに力を加えないようにしてください。故障の原因になります。

準備➡「接続する」(22、23ページ)をご覧ください。

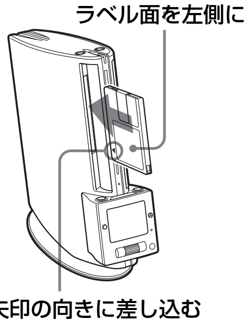
1



≜MDボタンを押してMDパネルを開け、MDを入れる。

ボタンを押すと自動的に電源が入ります。MDパネルが開いたら、MDのラベル面を左側に向けて、スロットに差し込んでください。

MDを入れると、自動的にMDパネルが閉まります。



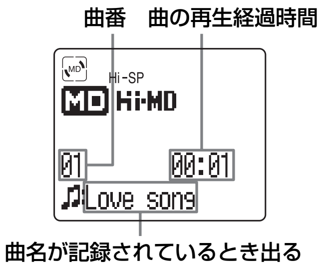


2

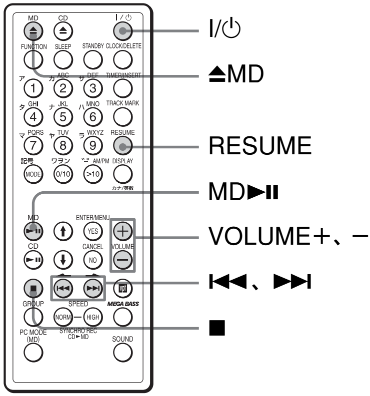


MD►IIボタンを押す。

再生が始まります。



その他の操作



こんなときは	押すボタン
音量を調節する	VOLUME＋、－
再生を止める	■
再生中に一時停止する	MD▶❚❚ もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す 前の曲へ戻す	⏮ 短くポンと押す。
次の曲へ進む	⏭ 短くポンと押す。
MDを取り出す	⏏MD
電源を入/切する	I/⏻

再生を停止した曲からもう一度再生する（リジューム再生機能）

MDの再生を一度止めても、もう一度止めた位置から再生を始めることができます。
RESUMEボタンを押して「リジュームオン」を表示させます。表示窓に「R」が表示されます。停止中は表示窓に再生が始まる曲番とその演奏時間が表示されます。
リジューム再生機能を解除するには、リモコンのRESUMEボタンを押して「リジュームオフ」を表示させます。
▶❚❚ボタンを押し続けるとディスクの先頭から再生が始まります。

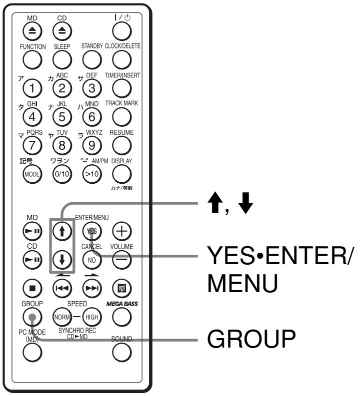
ちょっと一言

- 録音された方法により、PCM再生／Hi-SP再生／Hi-LP再生／SP再生／LP2再生／LP4再生は自動的に切り換わります（28ページ）。
- リジューム再生機能が「リジュームオン」に設定されているときにMDを取り出すか、停止中にもう一度■ボタンを押すと、次の再生は1曲目から始まります。

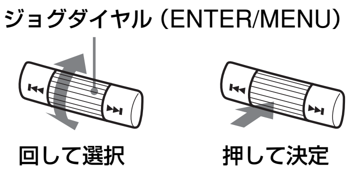
聞きたいグループを選ぶ *（グループ選曲）*

CDまたはMDの聞きたいグループを選びます。

リモコン



本 体



1 リモコンのGROUPボタンを押す。

「🗀」が点滅します。

2 リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回してグループを選ぶ。

グループの一覧が表示されます。

3 リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。

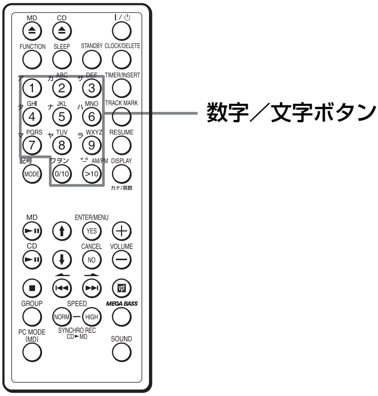
選んだグループの曲の再生が始まります。

聞きたい曲を選ぶ

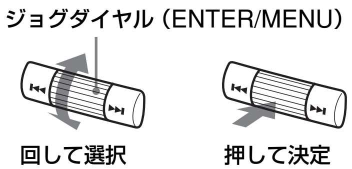
（ダイレクト選曲）

CDまたはMDの聞きたい曲を選んで、すぐに再生を始めることができます。

リモコン



本 体



本体で操作する

1 ジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回す。

グループと曲の一覧が表示されます。

2 別のグループの曲を選ぶときは、聞きたい曲を含むグループを選びジョグダイヤルを押す。

3 聞きたい曲を選び、ジョグダイヤルを押す。

選んだ曲の再生が始まります。

リモコンで操作する

1 曲番の数字／文字ボタンを押す。

選んだ曲の再生が始まります。

グループに分かれているときは

選ばれているグループの中の曲だけが選べます。

別のグループに含まれる曲を選ぶには、「聞きたいグループを選ぶ」（34ページ）の手順に従って、聞きたい曲が含まれるグループを選んでから操作してください。

ご注意

- ダイレクト選曲の場合、表示窓に「SHUF」が出ていたら、停止中にMODEボタンを押して消します。
- プログラム再生中やブックマーク再生中にはダイレクト選曲はできません。

ちょっと一言

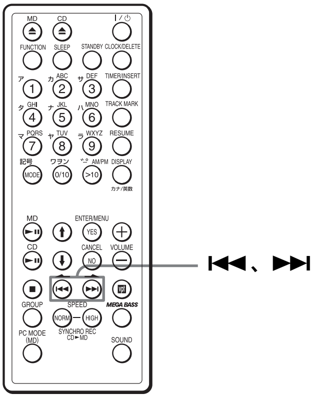
- 10曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字／文字ボタン（1〜0）を押します。
  例：23曲目を選ぶときは、＞10→2→3の順に押します。
  10曲目は0/10ボタンで選ぶこともできます。
- 100曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを2回押したあと100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字／文字ボタンを押します。
- 1,000曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを3回押したあと1,000の位の数、100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字／文字ボタンを押します。

聞きたい部分を探す

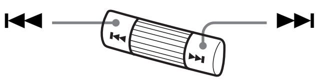
（サーチ）

|◀◀、▶▶|ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すことができます。

リモコン



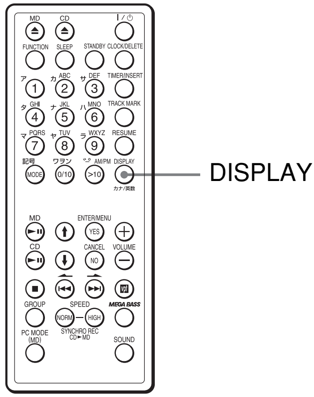
本 体



探しかた	操作のしかた
聞きながら探す（サーチ）	再生中に|◀◀、▶▶|ボタンを押したままにする。指を離すと、そこから再生されます。
表示窓の再生時間を見ながら探す（高速サーチ）	一時停止中に|◀◀、▶▶|ボタンを押したままにする。指を離すと、その位置で一時停止になります。

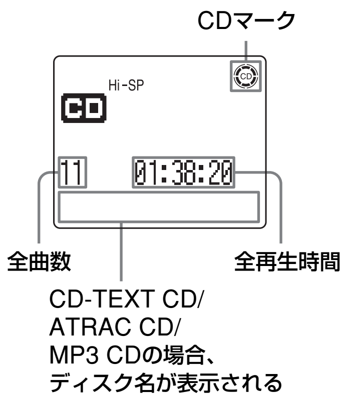
表示窓の見かた

DISPLAYボタンを繰り返し押して、CDまたはMDの情報を確認することができます。



CD停止中

全曲数と全再生時間が表示されます。
CD-TEXT CDやATRAC CD、MP3 CDの場合は、ディスク名も表示されます。



CD再生中

DISPLAYボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

音楽CDの場合

→ 再生中の曲番と再生経過時間（通常表示）
（曲名、アーティスト名）＊
↓
再生中の曲番と1曲残り時間
（曲名、アーティスト名）＊
↓
残りの曲数と再生残り時間
（ディスク名）＊

＊ CD-TEXTなど文字情報の入っているCDを演奏すると表示されます。

ご注意

- 1曲再生、リピート再生のときは、残りの曲数は表示されません。
- シャッフル再生（48ページ）、プログラム再生（45ページ）のときは、再生残り時間は表示されません。

ATRAC CD/MP3 CDの場合

ATRAC CDではSonicStageで入力した情報が表示されます。ID3タグ＊[1]入りのMP3 CDではID3タグの情報が表示されます。

→ グループ番号、ファイル番号、
現在の再生時間、
曲名／アーティスト名＊[2]
↓
ファイル番号、1曲残り時間、
曲名／アーティスト名
↓
残りの曲数、再生残り時間＊[3]、ディスク名
↓
ディスク名とアーティスト名、
グループ名とアルバム名、曲名

＊[1] ID3タグとは、曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するフォーマットのことです。本機はバージョン1.0/1.1/2.2/2.3に対応しています。
それ以外のバージョンをご使用になると、ID3タグの情報が正しく表示されません。バージョン2.2/2.3はunsynchronized、compressed、encrypted形式には対応していません。

＊[2] ID3タグが入っていない場合は曲名のかわりにファイル名を表示します。

＊[3] MP3ファイルを再生中は、「－－－：－－」と表示されます。

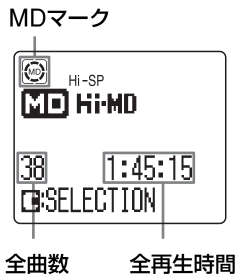
MD停止中

ディスク名と全曲数、全再生時間が表示されます。

MDの場合



Hi-MDの場合



次のページへつづく

表示窓の見かた（つづき）

DISPLAYボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

MDの場合

→ グループ番号*1、曲番*2と再生時間、曲名
↓
曲番*2、録音残り時間
↓
残り曲数、再生残り時間、ディスク名
↓
ディスク名、グループ名、曲名
↓
録音日時

Hi-MDの場合

→ グループ番号*1、曲番*2と再生時間、曲名とアーティスト名
↓
曲番*2、録音残り時間とディスクの空き容量
↓
残り曲数、再生残り時間、ディスク名*3
↓
曲番*2, *4、ディスク名とアーティスト名、グループ名とアルバム名、曲名
↓
録音日時

*1 グループ設定されている曲が選ばれているときに表示されます。
*2 通常再生以外のメイン再生モードが選ばれているときは、メイン再生モードのマークも表示されます。
*3 選ばれているメイン再生モードによって表示が異なります。
*4 グループ設定されていない曲が選ばれているときに表示されます。

ちょっと一言

曲名、ディスク名、グループ名が表示されるのは、MDにそれぞれが記録されているときのみです。記録されていないときは表示されません。

MD録音中（通常の速度で録音中）

→ 録音表示（CD→MD）、曲番、録音経過表示
↓
曲番、経過時間*

* CD-TEXT CDを録音中は、曲名とアーティスト名も表示されます。

MD再生中

DISPLAYボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

MDの場合

→ グループ番号*1、再生中の曲番*2、再生経過時間（通常表示）、曲名
↓
再生中の曲番*2、1曲残り時間、曲名
↓
残りの曲数、再生残り時間、ディスク名*3
↓
ディスク名、グループ名、曲名
↓
録音日時
↓
録音再生形式

Hi-MDの場合

→ グループ番号*1、再生中の曲番*2、再生経過時間（通常表示）、曲名とアーティスト名
↓
再生中の曲番*2、1曲残り時間、曲名とアーティスト名
↓
残りの曲数、再生残り時間、ディスク名*3
↓
再生中の曲番*2, *4、ディスク名とアーティスト名、グループ名とアルバム名、曲名
↓
録音日時
↓
録音再生形式 ―

*1 グループ設定されている曲が選ばれているときに表示されます。
*2 通常再生以外のメイン再生モードが選ばれているときは、メイン再生モードのマークも表示されます。
*3 選ばれているメイン再生モードによって表示が異なります。
*4 グループ設定されていない曲が選ばれているときに表示されます。

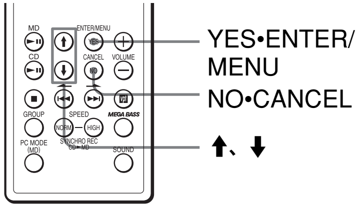
ちょっと一言
曲名、ディスク名、グループ名が表示されるのは、MDにそれぞれが記録されているときのみです。記録されていないときは表示されません。

ご注意
リピート再生（48ページ）のときは、「残りの曲数と再生残り時間」は表示されません。

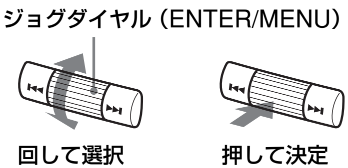
メニュー操作のしかた

本機では、録音や再生、編集に便利な機能をメニューを使って操作します。メニューの操作は下記の手順で行います。
本体で操作するときは、ジョグダイヤルを使います。

リモコン

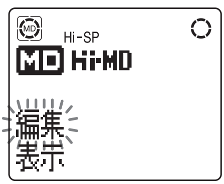


本 体



1 **FUNCTIONボタンを押して「CD」、または「MD」を表示させる。**

2 **リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を2秒以上押す。**
メニュー画面になります。
（例）MDの場合



次のページへつづく

CD・MD再生

3 リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して、項目を選択する。

4 リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して、項目を決定する。

5 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。

最後にリモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押した時点で設定が確定します。

1つ前の段階に戻すには

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

途中で中止するときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

メニュー一覧

設定できるメニュー項目は以下のとおりです。

ご注意

表示される項目は、操作状況やディスクの設定により異なります。

FUNCTIONボタンで「CD」を表示させた場合

第一階層	第二階層	機能	参照ページ
表示	経過時間	再生時間を表示する	37
	1曲残り時間	再生中の曲の残り時間を表示する	37
	再生残り時間	CDの残り時間を表示する	37
	タイトル表示1/2	曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名、ディスク名を表示する	37
CDサブプレイモード	ノーマル	通常再生／通常再生のリピートを設定する	48
	1トラック	1曲再生／1曲再生のリピートを設定する	48
	シャッフル	シャッフル再生／シャッフル再生のリピートを設定する	48
便利機能	時計表示設定	12時間表示／24時間表示を設定する	71
録音設定	録音モード	録音モードを設定する	28
	グループ録音	グループ録音の設定をする	51
各種設定	バックライト設定	表示窓のバックライトの設定をする	66
	ディスクモード	ディスクモード（Hi-MDまたはMD）を設定する	66
	表示言語	表示の日本語／英語の設定をする	67
	表示方式選択*	表示方式（漢字優先／漢字カナ交互）の設定をする	67
	リニアフェーズ	スピーカー音質を設定する	69

* MDモードで録音されたディスクが入っているときに表示されます。

次のページへつづく

メニュー一覧（つづき）

FUNCTIONボタンで「MD」を表示させた場合

第一階層	第二階層	機能	参照ページ
編集	タイトル入力	曲名、グループ名、アーティスト名、 アルバム名、ディスク名をつける	63
	グループ設定	グループを設定する	53
	グループ解除	グループを解除する	55
	移動	曲やグループの順番を変える	56
	消去	曲やグループを消す	58
	初期化	ディスクをお買い上げ時の状態に戻す （Hi-MDモードの場合のみ）	62
表示	経過時間	再生時間を表示する	38
	録音残り時間	録音の残り時間を表示する	38
	1曲残り時間	再生中の曲の残り時間を表示する	38
	再生残り時間	再生の残り時間を表示する	38
	タイトル表示1/2	曲名、グループ名、アーティスト名、 アルバム名、ディスク名を表示する	38
	録音日時	録音した日時を表示する	38
	録音再生形式	再生中の曲の録音再生形式を表示する	38
MDサブ プレイモード	ノーマル	通常再生／通常再生のリピートを設定する	48
	1トラック	1曲再生／1曲再生のリピートを設定する	48
	シャッフル	シャッフル再生／シャッフル再生の リピートを設定する	48
便利機能	曲検索	曲を検索する	48
	時計表示設定	12時間表示／24時間表示を設定する	71
録音設定	録音モード	録音モードを設定する	28
	グループ録音	グループ録音の設定をする	51
各種設定	バックライト設定	表示窓のバックライトの設定をする	66
	ディスクモード	ディスクモード（Hi-MDまたはMD）の設定を 記録する	66
	表示言語	表示の日本語／英語の設定をする	67
	表示方式選択＊	表示方式（漢字優先／漢字カナ交互）の 設定をする	67
	リニアフェーズ	スピーカー音質を設定する	69

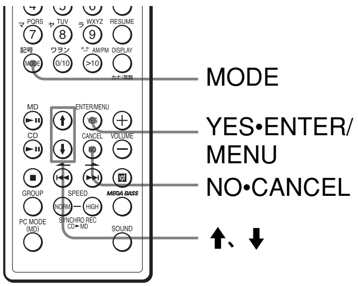
＊ MDモードで録音されたディスクが入っているときに表示されます。

再生モードを選ぶ

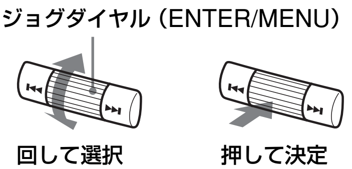
再生モードを選んでいろいろな方法で曲を聞くことができます。再生モードは、メイン再生モード、サブ再生モード、リピート再生の3つの組み合わせで設定します。

- メイン再生モード：再生したい曲やグループなどの単位を選ぶ。
- サブ再生モード：メイン再生モードで選んだ曲の再生方法を選ぶ。
- リピート再生：リピート再生を設定する。

リモコン



本体



メイン再生モードを選んで曲を聞く

1 再生中または停止中にリモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押す。

メイン再生モード選択画面になります。

2 リモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みの再生モードを選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。

表示	再生状態
通常再生	ディスク全曲を1回再生
グループ再生	今再生している曲が入っているグループのみを再生
アーティスト再生*[1]	お好みのアーティストの曲を再生
アルバム再生*[1]	お好みのアルバムの曲を再生
ブックマーク再生	ブックマーク（しおり）がついている曲だけを順番に再生
プログラム再生	聞きたい曲を好きな順に並べかえて再生
プレイリスト再生	好きなm3uプレイリスト*[2]の中の曲を再生

*[1] Hi-MDモードの場合のみ表示されます。

*[2] m3uプレイリストは、再生するMP3ファイルの順番をあらかじめ記載したファイルのことです。m3uフォーマット対応のエンコードソフトウェアでCD-R/RWを作成したときに使用できます。

次のページへつづく

曲を聞く（通常再生）

1 **「メイン再生モードを選んで曲を聞く」の手順1と2（43ページ）を行い、手順2で「通常再生」を選ぶ。**

2 **リモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みのグループを選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**
選んだグループ内の曲の一覧が表示されます。
ディスクにグループが1つもない場合は、この手順は必要ありません。

3 **リモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**
選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、ディスクの最後の曲までを再生します。

グループの曲を聞く（グループ再生）

1 **「メイン再生モードを選んで曲を聞く」の手順1と2（43ページ）を行い、手順2で「グループ再生」を選ぶ。**
グループの一覧が表示されます。

2 **リモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みのグループを選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**
選んだグループ内の曲の一覧が表示されます。

3 **リモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**
選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、グループ内の最後の曲までを再生します。

ご注意
グループに含まれない曲がある場合は、「Group – –」が表示されます。

グループを頭出しする（グループスキップ）

1 **再生中にリモコンのGROUPボタンを押す。**

2 **⏮または⏭ボタンを押してグループを選ぶ。**

ちょっと一言
グループが設定されていないディスクでこの操作をすると、10曲前または10曲後の曲に移動します。

アーティストを選んで曲を聞く（アーティスト再生）（Hi-MDモードの場合のみ）

曲にアーティスト名がついていると、アーティスト名で曲を検索して聞くことができます。

1 **「メイン再生モードを選んで曲を聞く」の手順1と2（43ページ）を行い、手順2で「アーティスト再生」を選ぶ。**
アーティストの一覧が50音順に表示されます。

2 **リモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みのアーティスト名を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**
選んだアーティストの曲の一覧が、録音された順に表示されます。

3 **リモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、曲の一覧の最後の曲までを再生します。

ちょっと一言

再生中にリモコンのGROUPボタンを押してから I◀◀または▶▶Iボタンを押すと、アーティストの頭出しをすることができます。

アルバムを選んで聞く（アルバム再生）（Hi-MDモードの場合のみ）

曲にアルバム名がついていると、アルバム名で曲を検索して聞くことができます。

1. **「メイン再生モードを選んで曲を聞く」の手順1と2（43ページ）を行い、手順2で「アルバム再生」を選ぶ。**
   アルバムの一覧が50音順に表示されます。
2. **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みのアルバム名を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**
   選んだアルバムの曲の一覧が、録音された順に表示されます。
3. **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みの曲を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**
   選んだ曲の再生が始まります。再生は選んだ曲から順に、アルバムの最後の曲までを再生します。

ちょっと一言

再生中にリモコンのGROUPボタンを押してから I◀◀または▶▶Iボタンを押すと、アルバムの頭出しをすることができます。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマーク再生）

好きな曲にブックマーク（しおり）をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

ブックマークをつけるには

1. **ブックマークをつけたい曲を再生し、▶IIを2秒以上押す。**
   ブックマークの1曲目が登録されます。



2. **手順1を繰り返してブックマークをつけていく。**

ブックマークした曲を再生するには

1. **「メイン再生モードを選んで曲を聞く」の手順1と2（43ページ）を行い、手順2で「ブックマーク再生」を選ぶ。**
2. **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して再生したい曲を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**
   選んだ曲から、曲の番号の小さい順に、ブックマークされた曲だけを再生します。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を再生し、▶IIボタンを2秒以上押す。

好きな順に曲やグループを並べかえて聞く（プログラム再生）

曲やグループを好きな順に並べかえて聞くことができます。

曲をプログラムする（トラックプログラム）

1. **「メイン再生モードを選んで曲を聞く」の手順1と2（43ページ）を行い、手順2で「プログラム再生」を選ぶ。**

次のページへつづく

2 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して「トラック」を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

3 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して「曲名検索」*を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

* グループのあるディスクでは、「グループ検索」を選ぶこともできます。
Hi-MDでは、「アーティスト検索」「アルバム検索」を選ぶこともできます。

4 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して曲を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

5 **手順3、4を繰り返して曲をプログラムする。**
64曲までプログラムできます。

6 **選び終わったらリモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを2秒以上押して決定する。**
設定が確定し、「PGM」が表示され、プログラムの1曲目から再生が始まります。

ちょっと一言
プログラムした曲を録音することもできます。

グループをプログラムする（グループプログラム）

1 **「メイン再生モードを選んで曲を聞く」の手順1と2（43ページ）を行い、手順2で「プログラム再生」を選ぶ。**

2 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して「グループ」を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

3 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してグループを選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

4 **手順3を繰り返してグループをプログラムする。**
20個までプログラムできます。

5 **選び終わったら、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを2秒以上押して決定する。**
プログラムが確定し、「PGM」が表示され、プログラムの最初のグループの1曲目から再生が始まります。

ちょっと一言
グループプログラムした曲は、REC IT録音することができます。

プログラムを確認するには

プログラム中：YES•ENTER/MENUボタンを押す。
プログラム再生停止中：←または→ボタンを押す。

解除するには

「メイン再生モードを選んで曲を聞く」（43ページ）の手順1と2を行い、手順2で「通常再生」を選び、YES•ENTER/MENUボタンを押して決定する。

選んだプレイリストの曲を聞く（m3uプレイリスト再生）（MP3 CDのみ）

好きなm3uプレイリストの中の曲を聞けます。

1 **「メイン再生モードを選んで曲を聞く」の手順1と2（43ページ）を行い、手順2で「プレイリスト再生」を選び、YES•ENTER/MENUボタンを押して決定する。**

2 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してプレイリストを選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

3 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して再生したい曲を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

プレイリストファイルについて

プレイリストファイルは、音楽ファイルの演奏順を決めるものです。
本機で使用できるプレイリストファイルは、テキストエディターなどで作成できます。音楽ファイルのパス（保存場所とファイル名）を演奏順に記述し、拡張子を「m3u」（大文字でも可）にしてディスクに記録します。

ご注意

パスの区切りに使用できるのは「¥」、「\」のみです。

プレイリストの例

プレイリストが記録されているメディアのルートからのパスを入力します。
例：
¥Music¥Popular¥New¥01new.mp3
¥Music¥Popular¥New¥May¥may01.mp3

- プレイリストはルートディレクトリーに保存してください。（サブディレクトリーに入れないでください。）
- 本機では最大8個までのプレイリストファイルを認識します。
- 本機では1つのプレイリストファイルで最大128ステップまで認識します。
- 本機では、プレイリスト内の1行は、フォルダ名、ファイル名とも、126文字まで登録できます。
  例：¥ABC¥XYZ¥TEST.MP3
  ↓ ↓
  126文字以下　126文字以下

サブ再生モードを選ぶ

メイン再生モードで選んだ曲を、いろいろな再生のしかたで聞くことができます。
例えば、メイン再生モードで「グループ再生」を、サブ再生モードで「シャッフル」を選ぶと、選んだグループの中の曲を順不同に再生することができます。

リモコンのMODEボタンを押して通常再生（表示なし）、「1」（1トラック再生）「SHUF」（シャッフル再生）を選ぶ。

メニュー操作で選ぶこともできます。

1 **「メニュー操作のしかた」の手順1～3（39、40ページ）を行い、手順3で「CDサブプレイモード」または「MDサブプレイモード」を選ぶ。**

2 **リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押して、項目を決定する。**

3 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してプレイモードを選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

次のページへつづく

再生モードを選ぶ（つづき）

表示	再生モード
ノーマル	通常の再生（全曲を1回再生）
1トラック	1曲再生（選んだ1曲のみ再生） 「1」が点灯
シャッフル	シャッフル再生（メイン再生モードで選んだ曲を順不同に再生） 「SHUF」が点灯

解除するには

MODEボタンを押して「1」や「SHUF」を消す。

繰り返し聞く（リピート再生）

サブ再生モードで選んだ再生のしかたで曲を繰り返し聞くことができます。

リモコンのMODEボタンを「 」が表示されるまで2秒以上押し続ける。

メニュー操作で選ぶこともできます。

1 **「サブ再生モードを選ぶ」の手順1～3（47ページ）を行い、手順3でリモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して「リピートオン」を選ぶ。**

2 **リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して設定を決定する。**

「 」が点灯します。

解除するには

MODEボタンを2秒以上押して「 」を消す。

ご注意

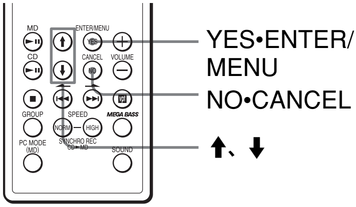
リピート再生停止中に録音を始めると、リピート再生は解除されます。

曲を探す（検索）

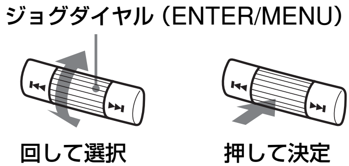
（Hi-MD、MDの場合のみ）

曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名から検索して、お好みの曲を簡単に探すことができます。アーティスト名とアルバム名はHi-MDモードでお使いのディスクのときのみ表示されます。

リモコン



本 体



1 **メニュー操作（39ページ）で「便利機能」–「曲検索」を選ぶ。**

2 **リモコンの⬆または⬇ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して曲の検索方法を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押して決定する。**

表示	検索方法
曲名検索	曲名から検索する
グループ検索	グループ名から検索する
アーティスト検索*	アーティスト名から検索する
アルバム検索*	アルバム名から検索する

* Hi-MDモードの場合のみ表示されます。

3 手順2で「曲名検索」を選んだ場合は手順4へ進む。
それ以外はリモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してお好みのグループ、アーティスト、アルバムを選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。

選んだグループ、アーティスト、アルバムの中の曲の一覧が表示されます。

4 リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して曲を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。

選んだ曲の再生が始まります。

途中で中止するときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

1つ前の段階に戻すには

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

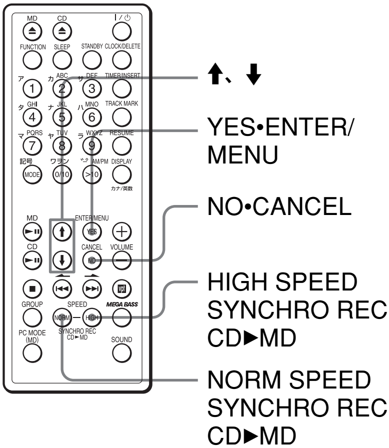
ご注意

- 手順4のあとはメイン再生モードとサブ再生モードは解除されます（リピート再生は働きます）。
- 曲の検索中、名前がついていない曲は、曲の一覧の一番最後に表示されます。
- 選んだ項目を並べ変えている間は、「並び替え中です」と表示されます。「並び替え中です」が消えるまで操作しないでください。

CDの再生中の曲だけを録音する

（REC IT録音）

再生中の曲だけを、ボタンひとつでその曲の頭から録音できます。聞いている曲をすぐに録音したいとき便利です。



1　録音用MDを入れる。

2　録音するCDを入れる。

3　ブランクディスクの場合は、メニュー操作（39ページ）でディスクモードを「Hi-MD」か「MD」に設定する。

詳しくは「ディスクモードを選ぶ」（66ページ）をご覧ください。

4　メニュー操作（39ページ）で録音モードを選ぶ。（詳しくは28ページ手順5をご覧ください。）

5　録音したい曲を再生する。

6　高速録音するには、リモコンのHIGH SPEED SYNCHRO REC CD▶MDボタンまたは本体のHIGH SPEED RECボタンを押す。
（音楽を聞きながら通常の速度で録音するには、リモコンのNORM SPEEDボタンを押す。）

再生中の曲の頭まで戻って録音が始まります。
録音済みMDの場合、すでに録音してある部分の後ろに録音します。
録音を終えるとMDは自動的に停止しますが、CDの再生は続きます。
高速録音中はスピーカーやヘッドホンから音は出ません。

「CD > MD」が表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。
再生中の曲を最後まで録音できなくてもよいときは、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押します。録音をやめるときは、リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押します。
その他のメッセージが表示されたときは86～92ページをご覧ください。

ご注意

- **録音を止めたあと、「システムファイルの書込み中です」が点滅しているときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**録音されないことがあります。
- メニュー操作で「グループ録音オン」（51ページ）を選んでいるときでも、REC IT録音のときはグループはできません。
- 高速録音についてのご注意は30ページをご覧ください。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（70ページ）。
- 録音中に曲名を付けることができます。63～65ページをご覧ください。

グループで録音する

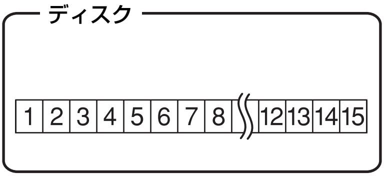
グループ機能とは

グループ設定されたディスクで、「グループ機能」を使うことができます。1枚のディスクにCD何枚分かを録音したときや、シングルCDを集めて録音したディスクの再生をするときなどに便利な機能です。

グループ設定されたディスクとは？

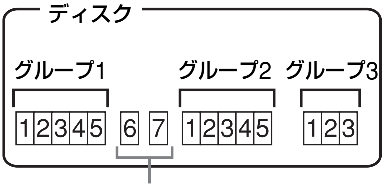
1枚のディスク内で、録音された複数の曲が、次の図のようにいくつかのグループにまとまっていることをいいます。

グループ設定前



1~5曲目を「グループ1」に
8~12曲目を「グループ2」に
13~15曲目を「グループ3」に
6、7曲目はグループに入れない

グループ設定後



グループに入っていない曲は「Group - -」に属しているとみなされる。

Hi-MDモードでお使いのディスクでは最大255個のグループを、MDモードでお使いのディスクでは最大99個のグループを作ることができます。

ご注意

MDモードの場合、1枚のディスク内の曲名、ディスク名の合計が本機の最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。

録音するとき、常に新しくグループを作って録音する

1 停止中に、メニュー操作（39ページ）で「録音設定」–「グループ録音」–「グループ録音オン」を選ぶ。

お買い上げ時には「グループ録音オン」に設定されています。

グループを作らずに録音するときは

上記手順で最後に「グループ録音オフ」を選ぶ。

2 高速録音するには、リモコンのHIGH SPEED SYNCHRO REC CD▶MDボタンまたは本体のHIGH SPEED RECボタンを押す。
（音楽を聞きながら通常の速度で録音するには、リモコンのNORM SPEEDボタンを押す。）

録音済みMDの場合、すでに録音してある部分の後ろに録音します。
高速録音中はスピーカーやヘッドホンから音は出ません。

「グループ録音オン」で録音中は

表示窓に🗀が点灯します。

「グループ録音オン」で録音した直後に、録音した内容を再生するときは

MD▶❚❚を押します。録音したグループの1曲目から再生が始まります。

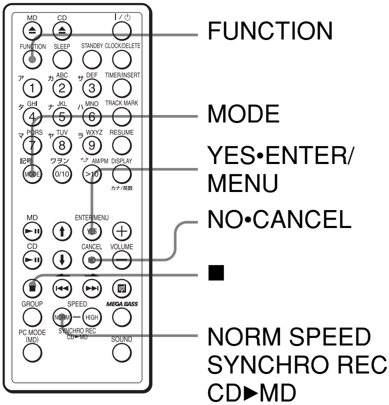
REC IT録音をしたときは

「グループ録音オン」で REC IT録音してもグループはできません。録音後、MD▶❚❚を押すと録音した曲を再生します。
「グループ録音オフ」で REC IT録音したときは、MD▶❚❚を押すとディスクの1曲目から再生します。

CDから好きな曲を選んで録音する

（プログラムシンクロ録音）

CDの好きな曲を好きな順番で録音できます。



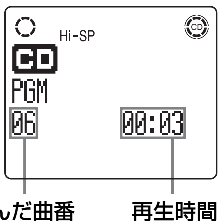
1 録音用MDを入れる。

2 録音するCDを入れる。

3 FUNCTIONボタンを押して「CD」を表示させる。

4 「曲をプログラムする」の手順1-5（45、46ページ）を行い、録音したい曲を選び、プログラム再生を始める。

プログラムでの曲順



5 ■ボタンを押してプログラム再生を止める。

6 ブランクディスクの場合は、メニュー操作（39ページ）でディスクモードを「Hi-MD」か「MD」に設定する。

7 メニュー操作（39ページ）で録音モードを選ぶ。（詳しくは28ページ手順5をご覧ください。）

8 高速録音するには、リモコンのHIGH SPEED SYNCHRO REC CD▶MDボタンまたは本体のHIGH SPEED RECボタンを押す。
（音楽を聞きながら通常の速度で録音するには、リモコンのNORM SPEEDボタンを押す。）

録音が始まります。
すでに録音してあるMDを入れたときは、録音部分の終わりから録音します。

「CD > MD」が表示されたら

MDの録音できる残り時間が足りません。
プログラムした曲を最後まで録音できなくてもよいときは、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押します。録音をやめるときは、リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押します。
その他のメッセージが表示されたときは86～92ページをご覧ください。

ご注意

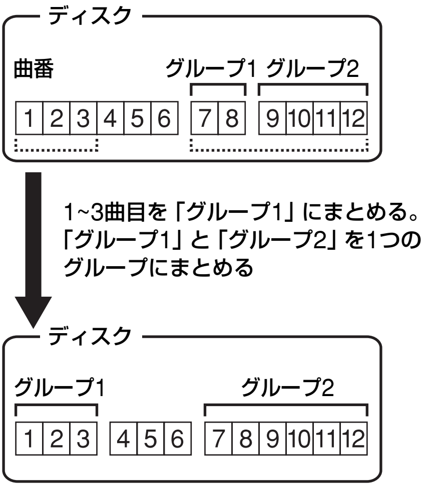
- **録音を止めたあと、「システムファイルの書込み中です」が点滅しているときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いたり、本機を動かしたりしないでください。** 録音されないことがあります。
- 音量が大きすぎると、音とびの原因となることがあります。

ちょっと一言

- 時計を合わせてあると、録音日時が自動的に記録されます（70ページ）。
- 録音中に曲名、グループ名などを付けることができます。63～65ページをご覧ください。

曲やグループを1つのグループにまとめる（グループ設定）

すでに録音してある曲をグループにまとめたり、複数のグループを１つのグループにまとめる、グループに含まれない曲をグループに入れることができます。
Hi-MDモードでお使いのディスクには最大255個のグループを、MDモードでお使いのディスクには最大99個のグループを作ることができます。

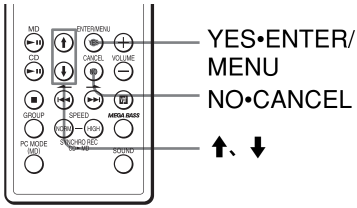


1と3、2と4、3と7、8、4と9～12など、連続していない曲番やグループなどはまとめることができません。
既存グループの途中の曲を最初の曲、または最後の曲として、新しいグループを作ることはできません。
操作中、曲番はディスク内の通し番号で表示されます。

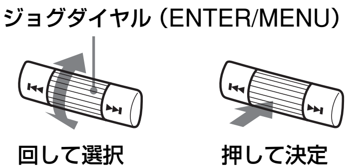
ご注意

- 1枚のディスク内の曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名、ディスク名の合計が最大入力文字数を超えている場合：
  – Hi-MDモードでお使いの場合は、グループ設定はできますが、手順4でグループ名をつけることができません。
  – MDモードでお使いの場合は、グループ設定はできません。
- まとめることができるのは連続している曲またはグループのみです。連続していない曲またはグループをまとめたい場合は、曲順またはグループの順番を並べかえて（56～58ページ）、まとめたい曲やグループを連続させてから行ってください。

リモコン



本 体



1 停止中に、メニュー操作（39ページ）で「編集」–「グループ設定」を選ぶ。

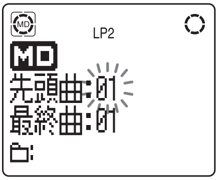
次のページへつづく

MD編集

曲やグループを1つのグループにまとめる（グループ設定）（つづき）

2 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回してグループの先頭にしたい曲を選んで表示させ、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

まとめたいグループの先頭曲が選ばれます。ディスクにグループがある場合は、グループの先頭の曲の曲番が表示されます。



3 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回してグループの最後にしたい曲を選んで表示させ、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

まとめたいグループの最終曲が選ばれ、グループ名を入力できるようになります。ディスクにグループがある場合は、グループの最後の曲の曲番が表示されます。

4 **リモコンの数字／文字ボタンを押してグループ名をつける。**

入力できる文字については65ページをご覧ください。

5 **リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押す。**

途中で中止するときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

1つ前の段階に戻すには

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

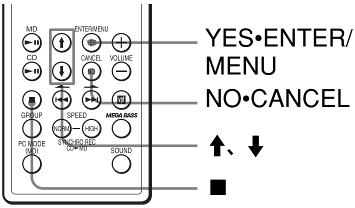
ご注意

- 手順2では、すでにあるグループの先頭曲かグループ設定されていない曲しか選べません。
- 手順3で最後の曲を選ぶときは、手順2で選んだ曲より後の曲しか選ぶことができません。また、まとめたいグループの最後の曲は、すでにあるグループの最後の曲かグループ設定されていない曲しか選べません。
- 再生中にグループ設定を行うと音切れがすることがあります。

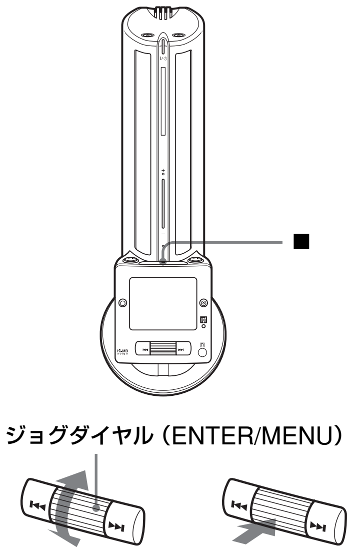
グループを解除する

（グループ解除）

リモコン



本 体



1 解除したいグループを選び（「グループを頭出しする（グループスキップ）」（44ページ））、内容を確認する。

2 ■を押す。

3 メニュー操作（39ページ）で「編集」–「グループ解除」を選ぶ。
「グループを解除して良いですか？」、「はい：ENTER　いいえ：CANCELを押してください」が表示されます。

4 リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押して決定する。
グループが解除されます。

途中で中止するときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

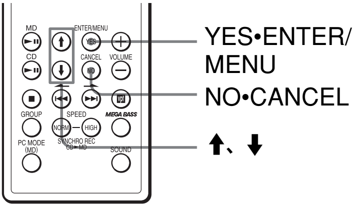
1つ前の段階に戻すには

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

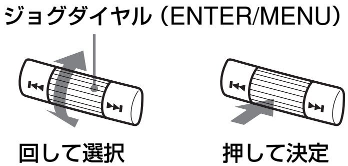
曲順を変える（ムーブ）

曲やグループを移動して、順番を変更できます。

リモコン



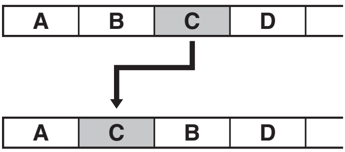
本 体



曲順を変える

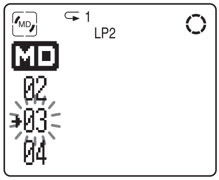
曲順を変えると、連続した曲番が自動的につきます。

例：3曲目（C曲）を2曲目に移動するとき



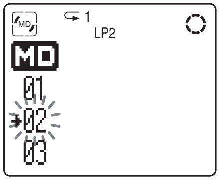
1 **移動したい曲の再生中または停止中に、メニュー操作（39ページ）で「編集」–「移動」–「曲移動」を選ぶ。**

表示窓の中段に曲番が点滅します。



2 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して、移動先の曲番を点滅させる。**

例ではC曲を2曲目に移動したいので、↑ボタンを押して、表示窓の中段に「02」が点滅するようにします。



3 **リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

曲が移動します。

途中で設定を止めるときは

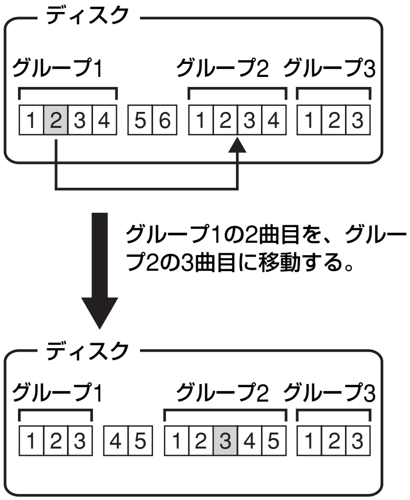
リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すには

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

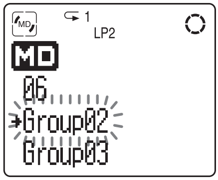
グループ設定されたディスクの曲を移動する

グループ設定されていない曲や、グループ内の曲を、別のグループやグループの外に移動することができます。



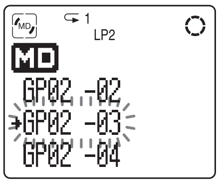
1 「曲順を変える」の手順1（56ページ）を行う。

2 グループの外に曲を移動する場合は、手順3へ進む。
別のグループ内に曲を移動する場合は、リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して移動先のグループを表示させ、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。



3 リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤルを回して移動先の曲番を表示させ、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。

例：2番目のグループ（GP02）の3曲目に移動する場合



途中で設定を止めるときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すには

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

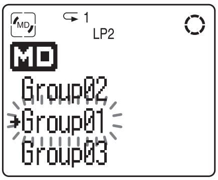
グループの順番を並べかえる

1 移動したいグループ内の曲を再生中に、メニュー操作（39ページ）で「編集」–「移動」–「グループ移動」を選ぶ。
表示窓の中段に再生中の曲が入っているグループの番号が点滅します。

次のページへつづく

2 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して移動したい場所に移し、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

例：1番目のグループ（Group01）を2番目のグループ（Group02）と3番目のグループ（Group03）の間に移動する場合



途中で設定を止めるときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

ご注意

- 曲名やグループ名が入力されているときは、操作の途中で ━▶ ボタンを押すとグループ名を確認することができます。◀━ ボタンを押すと、曲番やグループ番号に戻ります。
- グループの中の曲を全部移動した場合、そのグループは自動的にディスクから消去されます。

曲やグループを消す

（イレース）

不要になった曲やディスク内の曲を丸ごと削除することができます。

パソコンから転送した曲を消すときは

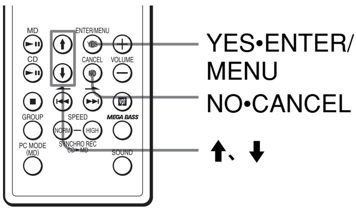
パソコンから転送した曲を本機で消した場合、曲の権利は次のようになります。

- Hi-MDモードで転送した曲の場合は、そのディスクを本体に入れ、パソコンに接続すると曲の権利が自動的に復活します。
- MDモードで転送された曲の場合は、曲の権利が1回分失われます。曲の権利を失いたくないときは、曲を消す前にパソコンにつないで曲の権利を戻してください。

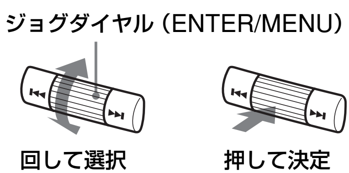
ご注意

Hi-MDモードでお使いの場合、音楽データ以外のデータ（テキストデータや画像データなど）は消すことができません。

リモコン



本体



1曲を消す

一度消した曲やグループは元に戻すことができません。消す前に、内容をよく確認してください。

1 **消したい曲の再生中に、メニュー操作（39ページ）で「編集」–「消去」–「1曲消去」を選ぶ。**

「曲を削除して良いですか？」、「はい：ENTER　いいえ：CANCELを押してください」が表示されます。
選択した曲がパソコンから転送された曲の場合は、「PC転送・録音曲を削除して良いですか？」が表示されます。

2 **リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押して決定する。**

曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

ご注意

グループの中の曲を全部消した場合、そのグループは自動的に消去されます。

曲の一部分を消すには

無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりにトラックマークをつけて（60ページ）、その部分を消してください。

グループを消す

グループ名とグループ内の全ての曲を消去します。

一度消した曲やグループは元に戻すことができません。消す前に、内容をよく確認してください。

1 **削除したいグループを選び（「グループを頭出しする（グループスキップ）」（44ページ））、内容を確認する。**

2 **■を押す。**

3 **メニュー操作（39ページ）で「編集」–「消去」–「1グループ消去」を選ぶ。**

「グループを削除して良いですか？」、「はい：ENTER　いいえ：CANCELを押してください」が点滅します。
選択したグループにパソコンから転送された曲が入っている場合は、「PC転送・録音曲を削除して良いですか？」が表示されます。

4 **リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押して決定する。**

全曲を消す

ディスク上の全ての曲を消します。

一度消した曲やグループは元に戻すことができません。消す前に、内容をよく確認してください。

Hi-MDモードでお使いのディスクの場合、音楽データのみ消えます。テキストデータや画像データなど、音楽データ以外のデータは本機では消去できません。

1 **消したいディスクを再生し、ディスクの内容を確認する。**

2 **■を押す。**

次のページへつづく

3 **メニュー操作（39ページ）で「編集」–「消去」–「全曲消去」を選ぶ。**

「全ての曲を削除して良いですか？」、「はい：ENTER　いいえ：CANCELを押してください」が表示されます。
ディスクにパソコンから転送された曲が入っている場合は、「PC転送・録音曲を削除して良いですか？」が表示されます。

4 **リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押して決定する。**

「システムファイルの書込み中です」が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わるとMDモードでお使いのディスクの場合は「ブランクディスクです」が点滅します。
Hi-MDディスクの場合は、「何も録音されていません」が点滅します。

途中で設定を止めるときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

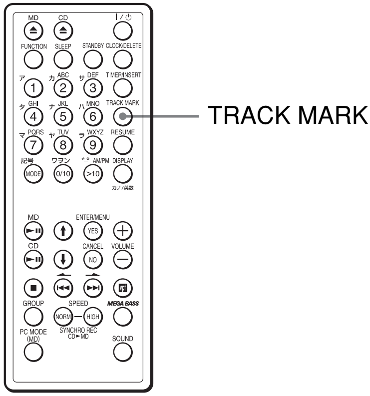
1つ前の設定に戻すときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

曲を分ける（ディバイド）

曲の途中にトラックマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができます。曲を分けると曲番は下のようになります。





再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でTRACK MARKボタンを押す。

「トラックマークをつけました」が表示され、曲番が1つ増えます。そこから次の曲として記録されます。

ご注意

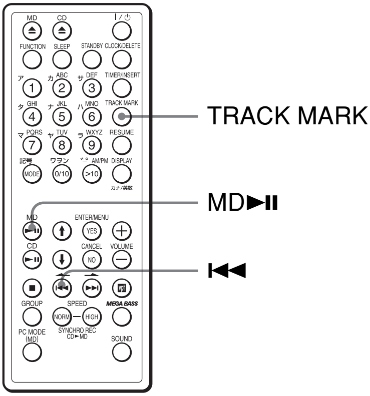
- パソコンから転送した曲は分けることができません。
- ディバイド機能を使うと、ブックマーク登録とプログラムは消えてしまいます。
- 曲の始めと終わりの部分で曲を分けることはできません。
- 「編集操作ができません」が表示されたらその曲を分けることはできません。
  MDは何度も編集を繰り返すと分けられなくなることがあります。これは、MDのシステム上の制約（97ページ）で、故障ではありません。
- 曲を分けた結果、最大曲数（Hi-MDモードでお使いのディスクでは2,047曲、MDモードでお使いのディスクでは254曲）を超えてしまう場合は、曲を分けることはできません。
- ディバイドされた新しい曲には録音日時はつきますが、曲名はつきません。

曲を1つにする *(コンバイン)*

連続した2つの曲を1つの曲にまとめることができます。曲番は次のようになります。



曲番が1つ減る



1 **曲番を消したい曲を再生し、MD►IIを押して再生一時停止にする。**

2 **I◄◄ ボタンを押して曲の先頭（00:00）にする。**

例えば、2曲目と3曲目をつなぎたいときは、3曲目の先頭にします。

3 **TRACK MARKボタンを押す。**

「トラックマークを消しました」が表示され、指定した曲が前の曲につながります。

ご注意

- 録音日時や曲名は、つないだ2曲の1曲目のものになります。
- 別のグループに属する連続した2つの曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲が属するグループに登録されます。また、連続した、グループ登録された曲とされていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の設定と同じになります。
- パソコンから転送した曲はトラックマークを消すことができません。
- 異なるモードで録音された曲は、つなぐことができません。
- **編集後、「システムファイルの書込み中です」が点滅しているときは、電源コードのプラグをコンセントから抜いたり、本機を動かしたりしないでください。**正しく記録されないことがあります。

MD編集

ディスクを初期化する（フォーマット）

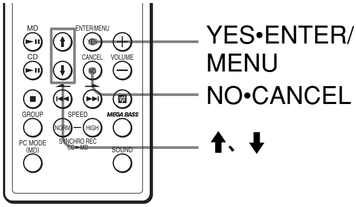
Hi-MDモードでお使いのディスクの場合、フォーマット（初期化）機能を使ってディスクをお買い上げ時と同じ状態に戻すことができます。
この機能はHi-MDモードでお使いのディスクのときのみ使用することができます。

ディスクの種類	初期化後
Hi-MD規格専用1GBディスク	「何も録音されていません」が表示されます。 音楽データ以外のデータも含め、すべてのデータが消去されます。 **ご注意**：曲の権利は、ディスクを本機に入れ、パソコンと接続すると自動的に復活します。
60/74/80分ディスク	「ブランクディスクです」が表示されます。 音楽データ以外のデータも含め、すべてのデータが消去されます。 **ご注意**：転送された曲の権利が1回分失われます。

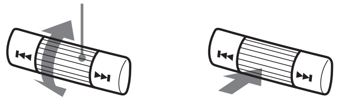
ご注意

- ディスクを初期化すると、音楽データ以外のデータも消去されます。音楽データ以外のデータが含まれているディスクは、パソコンにつないで内容を確認してください。
- 60/74/84分ディスクを初期化すると、パソコンから転送した曲も消え、その曲の転送の権利が一回分消えてしまいます。**曲の権利を消したくない場合は、曲をパソコンに転送し、権利を戻してから初期化してください。**
- SonicStageソフトウェアで60/74/80分ディスクを初期化した場合、または60/74/80分のブランクディスクの動作モードを選んだ場合でも、そのブランクディスクを本機でお使いになるときの動作モードは、メニューの「ディスクモード」の設定に従います。

リモコン



本 体



1 停止中にメニュー操作（39ページ）で「編集」－「初期化」を選ぶ。

2 リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して「はい」を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。

初期化が終わると、「何も録音されていません」または「ブランクディスクです」が表示されます。

途中で設定を止めるときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

曲名・ディスク名・グループ名を付ける

（ネーム機能）

録音中または録音後に、曲名、ディスク名、グループ名、アーティスト名*やアルバム名*を記録することができます。

* Hi-MDモードでお使いのディスクの場合のみ

入力できる文字の種類

- カタカナ（半角）
- アルファベットA～Zの大文字、小文字
- 数字0～9
- 記号 !"#$%&()＊.；＜＝＞?@_` +−’，/ ：␣（スペース）

入力できる文字数

曲名、グループ名、ディスク名にそれぞれ約200文字（全文字種混在の場合）

1枚のディスクに入力できる文字数

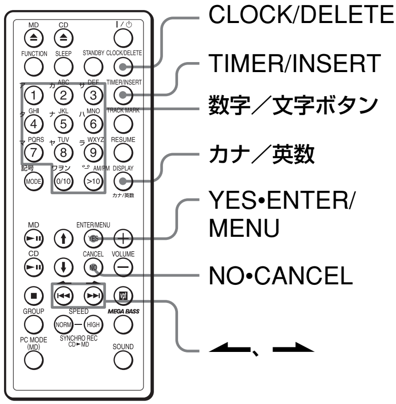
- Hi-MDモードの場合：
  約55,000文字
- MDモードの場合：
  約1,700文字

文字数によって登録できるタイトル数は異なります。

本機で入力できるのは、「入力できる文字について」（65ページ）に示す文字（半角文字）のみです。漢字やひらがななどの文字（全角文字）は、付属のSonicStageソフトウェアを使って入力できます。
詳しくは別冊の「ソフトウェア　インストール・操作ガイド」と電子マニュアルの「SonicStage Ver. 2.1ヘルプ」をご覧ください。

ご注意

- 再生専用ミニディスクの編集はできません。
- 誤消去防止つまみを閉めてください（94ページ）。
- 「システムファイルの書込み中です」表示中は編集内容をディスクに記録しています。
  – 衝撃を与えないでください。
  – 電源コードを抜かないでください。



名前をつける

再生中、録音中、停止中、いずれの状態でも名前をつけることができます。Hi-MDモードでお使いのディスクには、曲にアーティスト名やアルバム名もつけることができます。停止中に曲名、アーティスト名、アルバム名をつけるときは、名前をつけたい曲を選んでいる状態で名前をつけてください。グループに名前をつけるときは、再生中、録音中、停止中に名前をつけたいグループの中の曲を選んでいる状態で名前をつけてください。

1 メニュー操作（39ページ）で「編集」–「タイトル入力」を選ぶ。

2 次の表示を選ぶ。

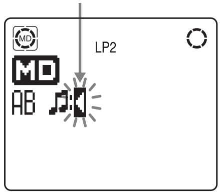
つける名前	表示
曲名	曲名入力
グループ名*1	グループ名入力
アーティスト名*2	アーティスト名入力
アルバム名*2	アルバム名入力
ディスク名*3	ディスク名入力

*1 REC IT録音（50ページ）のときは表示されません。
*2 Hi-MDモードの場合のみ表示されます。
*3 録音中は表示されません。

次のページへつづく

曲名・ディスク名・グループ名を付ける（ネーム機能）（つづき）

カーソルが入力エリアで点滅し、文字の入力状態になります。



3 リモコンの数字／文字ボタンを押して名前を付ける。

4 リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押す。

文字入力に使う数字／文字ボタン以外のボタンと機能は次の通りです。

機能	操作
文字カーソルを左右に移動する。	◀または▶を押す。
名前を確定する。	YES•ENTER/MENUボタンを押す（本体ではジョグダイヤルを押す）。
カナとアルファベット／数字を切り換える。	DISPLAY•カナ／英数を押す。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	TIMER/INSERTを押す。
カーソル上の文字を削除する。	CLOCK/DELETEを押す。
文字入力をやめる。	NO•CANCELを押す。

名前を変更する

「名前をつける」（63〜このページ）の手順で名前を変更してください。
曲名、アーティスト名、アルバム名は、曲の再生中、または停止中で曲を選んでいる状態で変更してください。
ディスク名は、再生中か停止中に変更できます。録音中には変更できません。

途中で設定を止めるときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

リモコンのNO•CANCELボタンまたは本体の■ボタンを押す。

ご注意

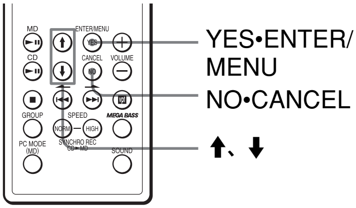
- カナ入力したタイトルを、カナ表示に対応していない他のMD機器で表示させると、ローマ字表記になります。その際、先頭と最後に「ˆ」がつきます（MDモードの場合のみ）。
- 他の機器でつけた200文字以上の曲名やグループ名、ディスク名を、本機で書き換えることはできません（MDモードの場合のみ）。
- 付属のSonicStageソフトウェアなどで入力した漢字の名前を編集することはできません。

入力できる文字について

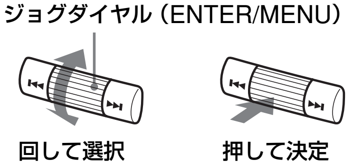
数字／文字ボタンの各ボタンに文字が割り当てられ、ボタンを押すたびに以下の順に文字が変わります。

ボタン	カタカナ入力（「カナ」表示）	英字・数字入力（「AB」表示）
1ア	ア→イ→ウ→エ→オ→ォ→ェ→ゥ→ィ→ァ	1
2カABC	カ→キ→ク→ケ→コ	A→B→C→a→b→c→2
3サDEF	サ→シ→ス→セ→ソ	D→E→F→d→e→f→3
4タGHI	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	G→H→I→g→h→i→4
5ナJKL	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	J→K→L→j→k→l→5
6ハMNO	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	M→N→O→m→n→o→6
7マPQRS	マ→ミ→ム→メ→モ	P→Q→R→S→p→q→r→s→7
8ヤTUV	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	T→U→V→t→u→v→8
9ラWXYZ	ラ→リ→ル→レ→ロ	W→X→Y→Z→w→x→y→z→9
0/10ワヲン	ワ→ヲ→ン	0
>10 ゛__゜ AM/PM	゛→゜→ー	—
モード記号	!→"→#→$→%→&→(→)→*→.→;→<→=→>→?→@→_→`→+→-→'→,→/→:→（スペース）	

リモコン



本 体



表示窓のバックライトをつける／消す

表示窓のバックライトを常に点灯させる／点灯させないの設定をすることができます。

1 停止中または再生中に、メニュー操作（39ページ）で「各種設定」–「バックライト設定」を選ぶ。

2 リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して「点灯」または「消灯」を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。

ディスクモードを選ぶ（ディスクモード）

現行の録音用ディスクがブランクディスクのとき、そのディスクをHi-MD形式にするか、MD形式にするかを選ぶ機能です。
本機で録音したディスクを、Hi-MDに対応していない他の機器でお使いになる場合は、ディスクモードを「MD」に設定してください。

1 メニュー操作（39ページ）で「各種設定」–「ディスクモード」を選ぶ。

2 リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して「Hi-MD」（お買い上げ時の設定）または「MD」を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。

ディスクモードを「Hi-MD」に設定したときは、本体のHi-MDランプが点灯します。

ご注意

- Hi-MD規格専用1GBディスクをお使いのときも、「ディスクモード」の設定で「MD」を選ぶことができますが、お使いになれる動作モードはHi-MDモードのみです。
- SonicStageソフトウェアで60/74/80分ディスクを初期化した場合、または60/74/80分のブランクディスクの動作モードを選んだ場合でも、そのブランクディスクを本機でお使いになるときの動作モードは、「ディスクモード」の設定に従います。

表示の言語を選択する

リモコンの表示窓に表示される言語を、日本語または英語に切り換えることができます。

1 **メニュー操作（39ページ）で「各種設定」–「表示言語」を選ぶ。**

2 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して「日本語表示」または「英語表示」を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

パソコンで入力したタイトルの表示方法を切り替える *（MDの場合のみ）*

MDモードでお使いの場合のみ切り替えることができます。Hi-MDモードでお使いの場合は、切り替えはできません。
MDモードの場合、表示方法は2種類あります。

- **漢字優先**：お買い上げの設定。通常はこちらにしておきます。
- **漢字カナ交互**：パソコンで文字入力時、全角エリアと半角エリアにそれぞれ違う情報（例：全角エリアに曲名、半角エリアに演奏者の名前など）を登録した場合などに選びます。両方の情報が表示されます。

「漢字カナ交互」にするには次の手順で切り替えてください。

1 **メニュー操作（39ページ）で「各種設定」–「表示方式選択」を選ぶ。**

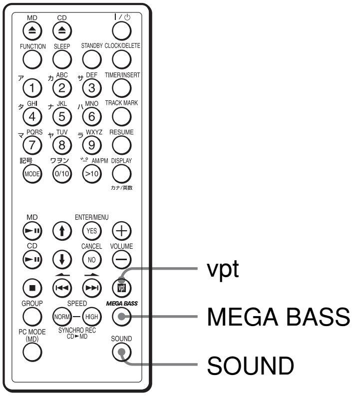
2 **リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して「漢字カナ交互」を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。**

設定を戻すには

手順2で「漢字優先」を選ぶ。

好みの音質で聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選ぶことができます。また、vpt（virtual phone technology）ボタンを使えば、広がりのある臨場感豊かな音を楽しむことができます。



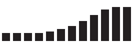
ちょっと一言

音質を調節しても 録音される音には影響ありません。

サウンド効果を楽しむ

SOUNDボタンを押す。

ボタンを押すごとに表示が切り換わります。希望の音質を選んでください。

表示	音質
	ロックなどに。 重低音と高音域を増強し、メリハリのきいた迫力のサウンドになります。
	ポップスなどに。 中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。
	ジャズなどに。 低音をはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。
	ボーカルを聞きたいときに。 中音域が強調され、ボーカルをきわだたせます。
	クラシックなどに。 ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときに適しています。

臨場感のある音を楽しむ

vptボタンを押す。

本体のvptランプが点灯します。



vpt表示中にvptボタンを押すたびに次のように設定を変えます。

SURROUND → WIDE → OFF

通常の音に戻すには「OFF」に設定してvptランプを消します。

迫力ある重低音を楽しむ

重低音を強調することができます。

MEGA BASSボタンを押す。

「MEGA BASS ON」が表示されます。

通常の音質に戻すには、MEGA BASS表示中にもう一度MEGA BASSボタンを押して、「MEGA BASS OFF」を表示させます。

スピーカーの音質特性を変える

本機のスピーカーシステムは、デジタルリニアフェーズ*を採用、位相ずれのない優れた音像定位特性を実現しました。サイズを超えた音質を楽しむことができます。

* スピーカーシステムがもつ音圧周波数特性や位相特性の乱れ、ユニットレイアウトで発生する遅延時間差などを、vpt（Virtual phone technology）を応用したデジタル信号処理技術により補正するシステムです。

タイプA
フラットな帯域を実現、ポップスからクラシックまで幅広いジャンルに最適です。

タイプB
中高域の雰囲気を高めた音造りを実現、ボーカル中心の曲に最適です。

タイプC
中高域の余韻を強調した音造りを実現、ジャズなど雰囲気を楽しむ曲に最適です。

1 メニュー操作（39ページ）で「各種設定」－「リニアフェーズ」を選ぶ。

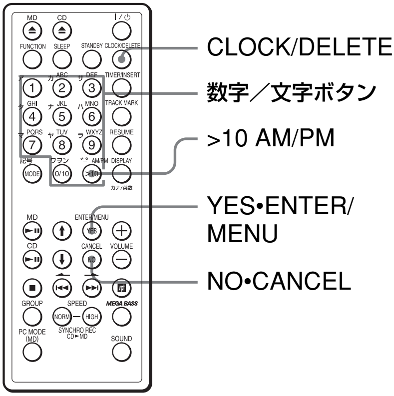
2 リモコンの↑または↓ボタンを押すか本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を回して「タイプA」、「タイプB」または「タイプC」を選び、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押して決定する。

ご注意

ヘッドホンでお聞きになるときは、リニアフェーズの効果はあらわれません。

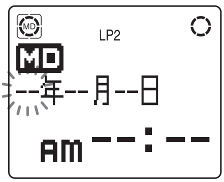
時計を合わせる

本機の時計表示は、時計を合わせるまで「– –:– –」のままです。
時計を合わせておくと、録音したとき、自動的に録音日時が記録されます。



1 **西暦年の数字が点滅するまで、CLOCK/DELETEボタンを押したままにする。**

西暦年の下2桁の数字が点滅します。



2 **年月日を合わせる。**

① 数字／文字ボタンを押して「年」を合わせ、YES•ENTER/MENUボタンを押す。
「月」の数字が点滅します。

② 数字／文字ボタンを押して「月」を合わせ、YES•ENTER/MENUボタンを押す。
「日」の数字が点滅します。

③ 数字／文字ボタンを押して「日」を合わせ、YES•ENTER/MENUボタンを押す。
「時」と「分」の数字が点滅します。

3 **時刻を合わせる。**

① 数字／文字ボタンの>10 AM/PMボタンを押して「AM」か「PM」を合わせる。

② 数字／文字ボタンを「時」「分」の順に押す。
例）8:45のときは、8→4→5の順に押します。

4 **YES•ENTER/MENUボタンを押す。**

00秒から時計が動きます。

途中で間違えたときは

NO•CANCELボタンを押します。
最後に設定した内容が消えますので、設定し直してください。

現在の日時を表示するには

停止中、再生中または録音中にリモコンのCLOCK/DELETEを押す。

ご注意

- 電源コードを抜くと時計の表示が「– –:– –」に戻る場合があります。その場合はもう一度時計を合わせなおしてください。

時計を24時間表示に変えるには

1 メニュー操作（39ページ）で「便利機能」－「時計表示設定」を選ぶ。

2 ↑または↓ボタンで「24時間表示」を選び、YES•ENTER/MENUボタンを押して決定する。

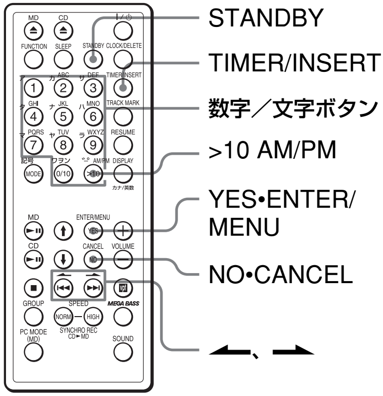
ご注意

- 特に大切な録音で録音日時を記録したいときは、現在の日時を表示させ、時計が合っていることを確認してください。
- 月に3分程度の誤差が生じることがあります。
- 本体で時計の設定がされていても、パソコンから転送した曲には、録音日時が記録されません。

音楽で目覚める

（タイマー機能）

タイマー機能を使って、好きなCDやMDを目覚まし代わりにすることができます。本機の時計合わせを行ってから操作してください（70ページ）。



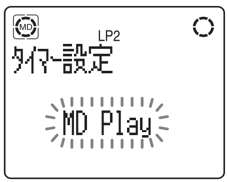
表示窓に「Timer」が出ていたら、STANDBYボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

音源	準備
MD	MDを入れる。
CD	CDを入れる。

2 TIMER/INSERTボタンを押す。

「タイマー設定」が表示されます。
このあと、表示窓で確認しながら設定していきます。



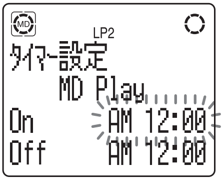
次のページへつづく

音楽で目覚める（タイマー機能）（つづき）

3 ◀またはボタン▶を押して聞きたい音源（「MD Play」か「CD Play」）を表示させ、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤル（ENTER/MENU）を押す。

4 再生を始める時刻を設定する。

① 数字／文字ボタンの＞10 AM/PMボタンを押して「AM」か「PM」を合わせる。

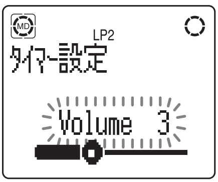


② 数字／文字ボタンを「時」「分」の順に押す。
例）6:45のときは、6→4→5の順に押します。

③ YES•ENTER/MENUボタンを押す。

5 同じように再生を止める時刻を設定する。

6 ◀または▶ボタンを押して希望の音量を表示させ、リモコンのYES•ENTER/MENUボタンまたは本体のジョグダイヤルを押す。



7 STANDBYボタンを押す。

「Timer」が表示され予約待機状態になります。設定した時刻になると自動的に再生が始まり、終了時刻になると電源が切れ、再び予約待機状態に戻ります。

予約した内容を確かめたり、変更する

TIMER/INSERTボタンを押してから、YES•ENTER/MENUボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させてそこから設定をやり直します。

予約したあとで他の音源を聞く

電源を入れれば、通常の操作ができます。
予約した時刻になる前に電源を切ります。電源を切っておかないとタイマー機能は働きません。

タイマー再生を途中で止める

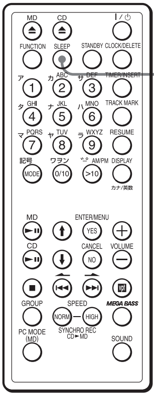
I/⏻ボタンを押して電源を切ります。

ちょっと一言

- 設定を間違えたときは、NO•CANCELボタンを押します。最後に設定した内容が消えますので設定し直してください。
- 予約待機状態を取り消すには、STANDBYボタンを押して、表示窓の「Timer」を消します。
- 予約内容は別の設定をしない限り保持されます。
- ⏻はタイマーで動作中であることを示す表示です。

音楽を聞きながら眠る *（スリープ機能）*

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

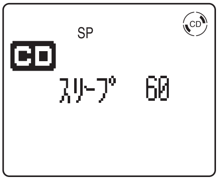


1 聞きたい音楽の再生を始める。

2 SLEEPボタンを押して、「スリープ」を表示させる。

3 SLEEPボタンを押して時間（分）を選ぶ。

「60」→「90」→「120」→「オフ」→「10」→「20」→「30」と変わります。



SLEEPボタンを押してから約4秒間そのままにすると、そのとき表示されている時間に設定されます。
表示窓のバックライト照明が消え、スリープ時間がカウントダウンを始めます。
指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。

スリープ機能を途中で止める

SLEEPボタンを押して「スリープ オフ」を表示させます。

スリープ時間を変更する

手順2からやり直してください。

ちょっと一言

- タイマー機能とスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先にタイマーを予約待機状態にしてから（71、72ページ）、電源を入れスリープ機能を働かせます。
- タイマー機能とスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。
- タイマー機能とスリープ機能で違う音量を設定できます。たとえば、小さい音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

パソコンとつないでできること

付属のソフトウェアを使う

詳しい説明については、別冊の「インストール・操作ガイド SonicStage Ver. 2.1」またはヘルプをご覧ください。

本機とパソコンの間で音楽データを転送する

付属のSonicStageソフトウェアを使って、本機とパソコンの間で音楽データをやり取りすることができます。また、Hi-MDモードでお使いのディスクが入っているときは、CDなどから録音したものをパソコンへ転送（移動）することができます。

本機内のディスクを記録用媒体として使う

Hi-MDモードでお使いのディスクが入っているときは、パソコンの外部機器として、Windowsのエクスプローラ上で確認することができます。そのため、音楽データだけではなく、パソコンで作成したファイルやテキストデータ、画像データなどをディスクに保存することができます。

ご注意

標準ユーザー権限（Power Users）のユーザーでパソコンにログオンしたときは、SonicStageの機能に一部制限がありますので、SonicStageをお使いの場合は、必ず管理者権限（Administrators）のユーザーでログオンしてください。

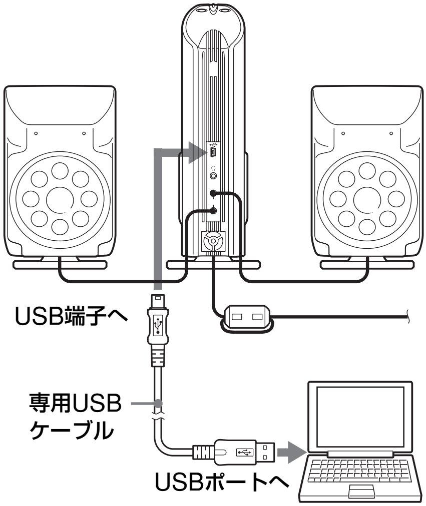
ちょっと一言

ソフトウェア上で曲を再生すると、 Hi-MDモードでお使いのディスクが本機に入っている場合はパソコンのスピーカーから、 MDモードでお使いのディスクが本機に入っている場合は、 本体につながっているスピーカーやヘッドホンから再生音が聞こえます。Hi-MDモードでお使いのディスクが入っている場合でも、USBスピーカー機能をお使いの場合は、本体につながっているスピーカーやヘッドホンから聞こえます。

パソコンに接続する

ご注意

本機を初めてパソコンに接続するときは、接続前に、必ず付属のCD-ROM を使用してソフトウェア「SonicStage」と「Net MDドライバ」をインストールしてください。



ご注意

パソコンの電源を入れたり再起動したりする前には必ず本機の電源を切るか、専用USBケーブルを抜いてください。本機の電源を入れたままでパソコンの電源を入れたり再起動したりすると、パソコンが起動しない場合があります。その場合は、本機の電源を切るか、専用USBケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。

Windows ME/98SEをお使いの場合

本機のディスクモードが「Hi-MD」に設定されている状態（お買い上げ時の状態）でパソコンに接続し、60/74/80分のブランクディスクを入れると、何も録音/記録しなくてもHi-MD形式のディスクになることがあります。

CD-ROMドライブとして使う

（CD-ROMドライブ機能）

付属の専用USBケーブルでパソコンに接続して本機をCD-ROMドライブとして使うことができます。CD-ROMドライブを内蔵していないパソコンをお使いのときなどに便利です。
また、パソコンにSonicStageソフトウェアがインストールされていれば、SonicStage専用のCDドライブとして、本機に入れた音楽CDのデータをSonicStage上で扱えるようになります。

ご注意

- Windows 95、Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Editionでは、CD-ROMドライブ機能はお使いになれません。
- SonicStageを起動してからUSBケーブルを接続しても、本機はCD-ROMドライブとしては認識されません。
- SonicStageでCDを録音しているときは、SonicStageでCDの再生を始めないでください。
- USBケーブルをパソコンから取り外すときには、USBスピーカー機能で音を再生していない状態で、次の方法で取り外してください。

  Windows XPでは
  タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンを右クリックしてからハードウェアの安全な取り外しをクリックする→ハードウェアデバイスから「USB大容量記憶装置デバイス」を選択して停止ボタンをクリックする→「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが開くので、OKをクリックしてください。

  Windows 2000では
  コントロールパネル→システム→ハードウェアタブ→デバイスマネージャを開き、USB（Universal Serial Bus）コントローラの下の「USB大容量記憶装置デバイス」を右クリックして、無効に設定してください。
  再度USBケーブルを接続したときは、無効にした「USB大容量記憶装置デバイス」を有効に設定してください。

SonicStage専用CD-ROMドライブ機能のPC動作環境

パソコン

- IBM PC/AT互換機（NEC PC-98シリーズとその互換機、およびMacintoshでは動作しません。）
- 接続ポート：USBポート（USB（従来のUSB1.1）に対応しています。）

OS
Windows XP Media Center Edition 2004 / Windows XP Professional / Windows XP Home Edition / Windows 2000 Professional（日本語版標準インストールのみ）

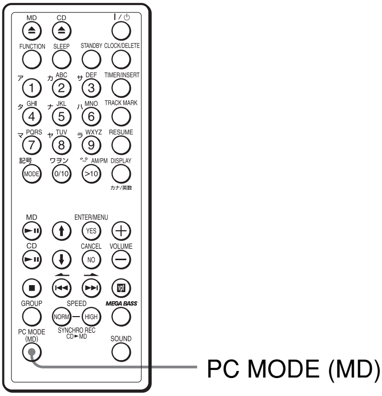
その他

以下のシステム環境での動作保証はいたしません。

- NEC PC-98シリーズとその互換機、またはMacintoshなど
- Windows XPのHome Edition/ Professional/ Media Center Edition 2004以外のバージョン
- Windows 2000のProfessional以外のバージョン
- Windows Millennium Edition
- Windows 98、Windows 98 Second Edition
- Windows NT
- Windows 95
- 自作PC
- 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
- マルチブート環境
- マルチモニタ環境

パソコンからMDに音楽を転送する

本機を付属の専用USBケーブルでパソコンに接続し、付属のソフトウェア「SonicStage」を使って音楽データをMDに転送することができます。



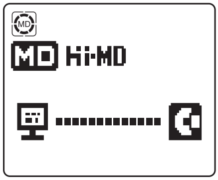
1 付属のCD-ROMを使ってソフトウェア「SonicStage Ver. 2.1」をパソコンにインストールし、パソコンに音楽データを取り込む。

詳しくは別冊の「インストール・操作ガイド SonicStage Ver. 2.1」をご覧ください。

ご注意

本機を初めてパソコンに接続するときは、接続前に、必ず付属のCD-ROM を使用してソフトウェア「SonicStage」と「Net MDドライバ」をインストールしてください。

2 PC MODE (MD)ボタンを押して次のような表示を確認する。



3 音楽データをMDに転送する。

操作の方法は別冊の「インストール・操作ガイド SonicStage Ver. 2.1」をご覧ください。

ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USBケーブルのみで接続してください。
- パソコンとつないで使わないときには、本機から付属の専用USBケーブルを抜いておいてください。

つないだパソコンの音を聞く *（USBスピーカー機能）*

本機を付属の専用USBケーブルでパソコンに接続し、パソコンのハードディスクで再生している曲を本機に接続したスピーカーで聞くことができます。
本機でCDやMDを再生していないときやMDに録音していないときは、本機につないだスピーカーからパソコンの音が聞こえます。

USBスピーカーのPC動作環境

パソコン

- IBM PC/AT互換機（NEC PC-98シリーズとその互換機、およびMacintoshでは動作しません。）
- 接続ポート：USBポート（USB（従来のUSB1.1）に対応しています。）
- サウンドボード

OS
Windows XP Media Center Edition 2004 / Windows XP Professional / Windows XP Home Edition / Windows 2000 Professional / Windows Millennium Edition / Windows 98 Second Edition（日本語版標準インストールのみ）

その他

- 接続したパソコンの特性により、再生中に雑音が入ったり、パソコンが正常に動作しないことがあります。
- Transmeta Crusoeプロセッサ搭載のパソコンでは、USBスピーカー機能が正常に動作しないことがあります。

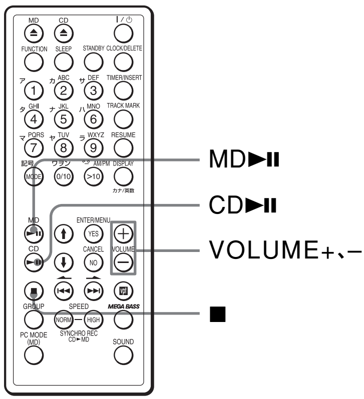
USBスピーカー機能をお使いになる前に

パソコンの設定を確認してください。

Windows XPでは
コントロールパネル→サウンドとオーディオデバイスのプロパティ→オーディオ タブ
→「音の再生　既定のデバイス：」に「LAM-X1」と表示されていることを確認してください。

Windows 2000では
コントロールパネル→サウンドとマルチメディアのプロパティ→オーディオ タブ
→「音の再生　優先するデバイス：」に「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認してください。

Windows 98SE/MEでは
コントロールパネル→マルチメディア→オーディオ
→「再生」で優先するデバイスが「USBオーディオデバイス」と表示されていることを確認してください。



1 **本機でCDやMDの再生や録音を止める。**

次のページへつづく

2 パソコンで音楽を再生する。

本機につないだスピーカーから音が聞こえます。
音量はパソコンで調節します。
音量が小さいときは、本機のVOLUME+または–ボタンを押して調節します。

本機を付属の専用USBケーブルでパソコンに接続したままCDまたはMDを再生させるには

CDの場合
CD▶IIボタンを押す。

MDの場合
MD▶IIボタンを押す。

ご注意

- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証は致しかねます。必ず付属の専用USBケーブルのみで接続してください。
- パソコンとつないで使わないときには、本機から付属の専用USBケーブルを抜いておいてください。
- USBケーブルを抜くときは、本機のBUSYランプが消えていることを確認してください。
- USBスピーカーとして再生中に、USBケーブルを抜いたり、電源を切らないでください。

音楽データ以外のデータをディスクに保存する *（データストレージ）*

Hi-MDモードでお使いのディスクが入っている状態で本機をパソコンにつなぐと、Windowsで外付けの記憶媒体として認識され、音楽データ以外のデータ（テキストデータや画像データなど）をディスクに保存することができます。
各ディスクの容量について詳しくは、次ページをご覧ください。

Hi-MDモードでお使いのディスクを本体に入れ、パソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上で、外部機器として認識されます。他のデバイスと同じようにお使いください。

ご注意

- SonicStageソフトウェアが起動しているときは、外部機器として認識されません。
- パソコンでディスクをフォーマット（初期化）するときは、必ずSonicStageソフトウェア上でフォーマットしてください。
- エクスプローラ上で、ファイル管理フォルダ（HMDHIFIフォルダ、HI-MD.INDフォルダ）を削除しないでください。

ディスク別ディスク容量（本体／SonicStage Ver. 2.1ソフトウェアで初期化した場合）

ディスクの種類	総容量	ディスク管理容量*	空き容量
60分ディスク	219 MB （229,965,824バイト）	832 KB （851,968バイト）	218 MB （229,113,856バイト）
74分ディスク	270 MB （283,312,128バイト）	832 KB （851,968バイト）	269 MB 282,460,160バイト）
80分ディスク	291 MB （305,856,512バイト）	832 KB （851,968バイト）	290 MB （305,004,544バイト）
Hi-MDディスク	964 MB （1,011,613,696バイト）	832 KB （851,968バイト）	963 MB （1,010,761,728バイト）

* ディスク管理容量とは、ディスク内のファイルを管理している領域の容量です。
ディスク管理容量は、使用条件などによって容量が変化します。そのため、エクスプローラ上で表示される空き容量に対して、実際に使用できる空き容量が減少することがあります。

故障かな?と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。(メッセージ一覧(86～92ページ)も合わせてご覧ください。)メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書で調べる

この「故障かな?と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
また、本書の手順の中や「メッセージ一覧」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

↓

手順2
「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。

http://www.sony.co.jp/support-pa/で調べる。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

↓

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

お客さまご相談センターまたはお買い上げ店にご相談ください。

- 型名:LAM-X1
- 製造(シリアル)番号:記載位置については、別紙「カスタマー登録のご案内」をご覧ください。
- ご相談内容:
- 表示されたエラーメッセージ:
- トラブルが発生した状況:
- 使用したCD:
- 使用したMD:

共　通

症状	チェック項目
音が出ない。	● I/⏻ボタンを押して電源を入れる。 ● 電源コードのプラグをコンセントにしっかり差し込む。 ● 音量を調節する。 ● スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを🎧 PHONES端子から抜く。 ● 「Reading」が消えるまで待つ。 ● 専用スピーカー接続コードをしっかりと差し込む。
雑音が入る。	● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 ➔ 携帯電話などを本機から離して使用する。

CD部

症状	チェック項目
8cmCDが再生できない。 取り出せない。	● 8cmCDが入っているのに「No Disc」表示が出て再生できなかったり、8cmCDを取り出すことができなかったりすることがあります。その場合には、電源が入った状態で本体のVOL–ボタンを押したまま、⏮ボタン、■ボタン、ジョグダイヤルの順に押してください。
再生が始まらない。	● CDが入っていることを確認する。
ディスクの1曲目から再生しない。	● リジューム再生機能が働いている。 ➔ RESUMEボタンを押して、「リジューム オフ」を表示させる。
CDが入っているのに「読み込みエラーです」が表示される。	● CDの汚れがひどい。 ➔ クリーニングする。（93ページ） ● レンズに露（水滴）がついている。 ➔ CDを取り出してCDパネルを開けたまま数時間置く。 ● ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 ● CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ● 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。（14ページ）

次のページへつづく

症状	チェック項目
音がとぶ。 雑音が入る。	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい。 → クリーニングする。（93ページ） • CDに傷がある。 → CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。

MD部

症状	チェック項目
「録音エラーです」、「読み込みエラーです」、「TOCデータに異常が有ります」が表示され、操作を受け付けない。	• MDが汚れているか損傷している。 → 新しいMDと交換する。
再生経過時間や残り時間が「– – –:– –」と表示される。	• 本機は999分59秒までしか表示できません。それより長い時間の場合は「– – –:– –」が表示されます。
再生できない。	• 内部のレンズに露（水滴）がついている。 → MDを取り出してMDパネルを開けたまま数時間置く。 • MDを入れる向きが違う。 → MDのラベル面を左側にして入れる。 → MDを矢印の向きに入れる。 • 何も録音されていないMDが入っている。（「ブランクディスクです」または「何も録音されていません」が表示されている） → 録音済みのMDと交換する。
他の機器でディスクが再生できない。	• Hi-MDに対応していない機器で再生しようとした。 → Hi-MDディスクはHi-MD対応の機器でのみ再生することができます。
ディスクの1曲目から再生しない。	• リジューム再生機能が働いている。 → RESUMEボタンを押して、「リジューム オフ」を表示させる。 • グループ再生モードになっている。 → 通常再生モードにしてからもう一度再生する。

症状	チェック項目
録音できない。	● MDが誤消去防止状態になっている。(「ディスクが誤消去防止状態です」が表示されている)(94ページ) ➔ MDの誤消去防止つまみを戻して孔を閉じる。 ● 再生専用MDが入っている。(「再生専用ディスクです」が表示されている) ➔ 録音用MDと交換する。 ● MDの録音できる残り時間が足りない。 ➔ 不要な曲を消すか、別のMDと交換する。 ● 録音中や「システムファイルの書込み中です」表示中に停電があった、または電源コードのプラグがコンセントから抜かれた。 ➔ 初めから録音し直す。 ● CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、MDに録音できない場合があります。
高速録音できない。	● 一度高速録音した曲は、その後74分間は高速録音できません。(98ページ) ● MDの録音できる残り時間が1曲分ないため、高速録音はできません。(「CD > MD」が表示されている)
録音した音がとぶ。 録音した音に雑音が入る。	● 録音したときの音量が大きかった。 ➔ 音量を下げて録音する。 ● 汚れがひどいCDを高速で録音した。 ➔ 通常の速度で録音してください。
高速録音したはずの曲が録音できていない。	● 曲の途中で録音を止めると、その曲は録音されません。
他機種で編集ができない。	● Hi-MDやMDLP録音モードに対応していない機器で編集しようとした。 ➔ 本機、または他のHi-MDまたはMDLPモードに対応している機器で編集してください。
録音時、瞬間的なノイズが発生する。	● LP4録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに瞬間的なノイズが発生する。 ➔ ステレオ録音またはLP2録音を行う。

次のページへつづく

パソコンとの接続

症状	チェック項目
音が出ない／小さい。	● パソコンの音量を最大(MAX)にする。 ● USBオーディオデバイスに切り替わっているか確認する。(77ページ) ● CDやMDの再生を一時停止している場合は、■ボタンを押して再生を止める。
パソコンに接続したとき、 本機がパソコンに認識されない。	● パソコン側のUSBケーブルが抜けている。 ➔ USBケーブルを挿し直してください。 ● 付属のCD-ROMを使ってソフトウェア「SonicStage Ver. 2.1」をインストールしてください。 ➔ 詳しくは別冊の「ソフトウェア　インストール・操作ガイド」をご覧ください。
本機にはPCとディスクが表示されている(76ページ)のに、SonicStageソフトウェアが本機を認識しない。	● USBケーブルを挿し直して、SonicStageを再起動してください。
接続中の動作が不安定。	● USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している。 ➔ 動作の保証はできません。付属の専用USBケーブルのみで直接パソコンと接続してください。
音楽データ以外のデータを保存できない。	● SonicStageソフトウェアが起動している。 ➔ SonicStageソフトウェアを終了してから操作してください。

タイマー（時計）部

症状	チェック項目
タイマーが働かない。	● 時計を正しい時刻に合わせる。(70ページ) ● 停電があった。 ● 「Timer」表示が出ていることを確認する。(71、72ページ) ● タイマーの開始時刻と終了時刻が同じになっている。 ➔ 設定時刻を合わせ直す。

リモコン

症状	チェック項目
リモコンで操作ができない。	● リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。（22ページ） ● リモコンを本体へ向けて操作する。 ● 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 ● 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。**上記のチェック項目を確認しても動作が正常でないときは、電源が入った状態で本体のVOL–を押したまま、⏮ボタン、■ボタン、ジョグダイヤルの順に押してください。**（時計やタイマーがお買い上げ時の設定になりますので、必要に応じて設定し直してください。）それでも正常に動かないときは、電源コードを抜いて、1分以上そのままにし、その後に電源コードをつなぎなおしてください。
以上を試してもまだ正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

困ったときは

メッセージ一覧

表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示(日本語)	表示(英語)	意味	対策
ブックマーク登録を解除しました	✐:OFF (BookMark)	ブックマークを消去した。	—
ブックマーク登録しました	✐:ON (BookMark)	ブックマークを登録した。	—
PCアクセス中です	ACCESSING PC	パソコンからMDにアクセスしている間に本体での操作をしようとした。	パソコンからのアクセスを停止するかアクセスが終了するのを待ってください。
全ての曲を削除して良いですか?	ALL TRACK Erase OK?	すべての曲を消去しようとしている。	消去する場合はYES•ENTER/MENUを押します。
ブランクディスクです	BLANKDISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
しばらくお待ちください	BUSY WAIT A MOMENT	ディスクの情報を読んでいる。録音または編集の内容の処理をしている。	しばらく待ってください。まれに1分ほどかかる場合があります。
キャンセルします	CANCEL	操作を中止した。	—
録音できません	CANNOT COPY	サブ再生モードが「シャッフル」でCDをまるごと録音しようとした。 再生モードが「グループプログラム」でCDをまるごと録音しようとした。 オーディオトラック(CDDAフォーマット)以外の曲を録音しようとした。	—
デジタル録音はできません	CANNOT DIGITAL COPY	シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)によりダビングは禁止されている(99ページ)。	—

表示(日本語)	表示(英語)	意味	対策
編集操作はできません	CANNOT EDIT	再生中に曲の切れ目にトラックマークを付けようとした(60ページ)。 録音モードの異なる曲を1つにつなげようとした(61ページ)。 SonicStageで入力した全角文字を含む名前を、本機で編集しようとした。	—
操作 できません	CANNOT OPERATE	リモコンでプログラム設定中にグループスキップしようとした。	—
再生できない トラックです	CANNOT PLAY	再生に制限のあるコンテンツを再生しようとした。	—
録音•再生が できない ディスクです ↓ 録音できる ディスクに しますか? ↓ はい:ENTER いいえ:CANCEL	CANNOT RECORD OR PLAY ↓ CREATE AUDIO FILE? ↓ PUSH YES:ENTER NO:CANCEL	PCストレージとして使用可能だが、録音・再生ができないディスクが挿入された。	YES•ENTER/MENUまたはNO•CANCELボタンを押します。
ディスク容量が 一杯です	DISC FULL	ディスクの残り時間が48秒以下の場合、録音できないことがある(録音時)。 録音中にディスクの最後まで録音された。	他の録音用ディスクと取り換えてください。
編集中です	EDITING	—	—
これ以降の曲は ありません	END	停止中に▶▶Iボタンを押して、ディスクの最後まで到達したときにDISPLAYボタンを押した。	—
最終曲:	END:	グループ設定の場合、最後の曲を決めようとした。	—

次のページへつづく

メッセージ一覧（つづき）

表示（日本語）	表示（英語）	意味	対策
曲を削除して良いですか?	Erase OK?	曲を消去しようとした。	消去する場合はYES•ENTER/MENUを押します。
エラーです	ERROR	内部システムが誤動作している。	電源が入った状態で本体のVOL–を押したまま、⏮ボタン、■ボタン、ジョグダイヤルの順に押してください。
使用できないディスクです ↓ 使用できるように初期化しますか? ↓ はい:ENTER いいえ:CANCEL を押してください	FORMAT ERROR DISC ↓ FORMAT TO RECORD OR PLAY? ↓ PUSH YES:ENTER NO:CANCEL	Hi-MD AUDIOとして本機が対応していないフォーマットのディスクが挿入された。	YES•ENTER/MENU、またはNO CANCELボタンを押します。
グループを削除して良いですか?	Group Erase OK?	グループを消去しようとした。	消去する場合はYES•ENTER/MENUを押します。
グループ制限数を超えています	GROUP FULL	Hi-MDモードでお使いのディスクで256個め、MDモードでお使いのディスクで100個めのグループを作ろうとした。	グループはHi-MDモードでお使いのディスクでは255個、MDモードでお使いのディスクでは99個まで作れます。255個または99個以内でグループを作ってください。
グループを解除して良いですか?	Group RELEASE OK?	グループ解除しようとした。	解除する場合はYES•ENTER/MENUを押します。
トラックマークを消しました	MARK OFF	トラックマークを削除した。	—
トラックマークをつけました	MARK ON	トラックマークをつけた。	—

表示(日本語)	表示(英語)	意味	対策
編集文字数制限を越えています	NAME FULL	編集文字数制限を越えて入力しようとした。	—
ブックマークされている曲がありません	NO BOOKMARK TRACK	ブックマークがついていないディスクでブックマーク再生をしようとした。	ブックマークをつけてから(45ページ)操作してください。ブックマークがついているディスクで操作してください。
時計が設定されていません	NO CLOCK SET	時計設定されていない状態でSTANDBYまたはTIMER/INSERTボタンを押した。	時計設定をしてください。
ディスクが入っていません	NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
グループがありません	NO GROUP	グループ設定されていないディスクで、グループを消去しようとした(59ページ)。 グループ設定されていないディスクでグループを解除しようとした(55ページ)。	グループ設定されているディスクを入れてください。
MDが入っていません	NO MD	MDが入っていない状態で録音しようとした。	MDを入れてください。
アーティスト名が入力されていません	NO NAME	アーティスト名がついている曲が入っていないディスクで、メイン再生モードをアーティスト再生にした。 アーティスト名がついている曲が入っていないディスクで、曲の検索中に「アーティスト検索」を選ぼうとした。	—

次のページへつづく

メッセージ一覧（つづき）

表示（日本語）	表示（英語）	意味	対策
グループ設定されていない曲です	NON GROUPED TRACK	停止中や再生中、グループに入っていない曲を選んだ状態で、「グループ移動」、「グループ消去」を選んだ、またはグループ名をつけようとした。	編集したいグループ内の曲を選んだ状態で、もう一度操作してください。
プレイリストがありません	NO PLAYLIST	プレイリストがないCDでメイン再生モードをプレイリストにしようとした。	—
アルバム名が入力されていません	NO TITLE	アルバム名がついている曲が入っていないディスクで、メイン再生モードをアルバム再生にした。 アルバム名がついている曲が入っていないディスクで、曲の検索中に「アルバム検索」を選ぼうとした。	—
何も録音されていません	NO TRACK	何も録音されていないディスクを再生しようとした。	録音済みのディスクを入れてください。
曲が選択されていません	NO TRACK IS SELECTED	停止中に▶▶Iボタンを押してディスクの最後まで到達した状態で「曲移動」、「1曲消去」を選んだ、または曲名をつけようとした。	編集したい曲を選んだ状態で、もう一度操作してください。
再生専用ディスクです	P/B ONLY DISC	再生専用ディスクに録音・編集しようとした。	録音用ディスクと取り換えてください。
ディスクが誤消去防止状態です	PROTECTED DISC	ディスクが誤消去防止状態になっている（94ページ）。	誤消去防止つまみを戻してください。
読み込みエラーです	READ ERROR	ディスクの情報を正しく読み取れなかった。	ディスクを入れ直してください。

表示(日本語)	表示(英語)	意味	対策
録音エラーです	REC ERROR	正しく録音できなかった。	振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直してください。
		ディスクにひどい汚れ(油膜、指のあとなど)や傷がある、またはディスクが規格外である。	ディスクを交換して録音をやり直してください。
MDを取り出してください	REMOVE MD	⏏ボタンを押した後、MDを取り出していない状態でもう一度MDの⏏ボタンを押した。	—
リジュームオフ	RESUME OFF	リジューム再生機能をオフにした。	—
リジュームオン	RESUME ON	リジューム再生機能をオンにした。	—
録音時間が不足しています	SHORT REC TIME	録音残り時間が1曲分ない状態で高速ダビングしようとした。	
並び替え中です	SORTING	並べ替えが実行中です。	しばらく待ってください(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
先頭曲:	STR:	グループ設定で先頭の曲を決めようとした。	—
システムファイルの書込み中です	SYSTEM FILE WRITING	録音した情報(曲の開始・終了位置など)をディスクに記録している。	しばらく待ってください(衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない)。
温度上昇し過ぎた為録音停止しました	TEMP OVER REC STOP	録音中、本機の温度が高くなりすぎたため、録音を停止した。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。

次のページへつづく

メッセージ一覧（つづき）

表示（日本語）	表示（英語）	意味	対策
文字数制限を超えています	TITLE FULL	曲名やグループ名、ディスク名を200文字を越えて入力しようとした。曲名、グループ名、アーティスト名、アルバム名、ディスク名を、合計約55,000文字（Hi-MDモードの場合）または約1,700文字（MDモードの場合）を越えて入力しようとした。	ディスク名、グループ名、アーティスト名、アルバム名、曲名を短くして入力してください（63～65ページ）。
TOCデータに異常があります	TOC DATA ERROR	ディスク情報を正しく読み取れなかった。	他のディスクを入れてください。ディスクの内容を全て削除してよいときは、記録されている内容を全て削除してください。
PC転送・録音曲を削除して良いですか?	TRK FROM PC Erase OK?	パソコンから転送した曲で、プロテクトがかかっている曲を削除しようとしたとき	パソコンから転送した曲でプロテクトがかかっている場合は、削除することはできません。
PC転送・録音した曲は編集できません	TRK FROM PC NO EDIT	パソコンから転送した曲を、分けたりつなげたりしようとした。	パソコンから転送した曲を、本機で分けたりつなげたりすることはできません。
曲数制限を超えています	TRACK FULL	曲番の合計が、Hi-MDモードでお使いのディスクで2,047、MDモードでお使いのディスクで254を超える曲数を録音しようとした。	曲番を削除して2,047（Hi-MDモード）または254（MDモード）以下にしてください。

使用上のご注意

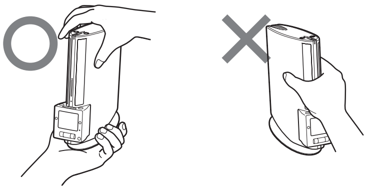
取り扱いについて

- 本機と他の機器をつないで使う際は、接続コード類に足などを引っ掛けないようご注意ください。
- CD/MDパネルを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機に付属のスピーカーは防磁型になっていますが、次のようなものはスピーカーの前面や側面に置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、テレビやモニターの画像が乱れる場合は、スピーカーを離してお使いください。

本体を持ち運ぶときのご注意

- 電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 下記のように本体を持ってください。



本体のお手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、から拭きします。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- 8cm CDを再生するときはアダプタは使わないでください。8cm CDはそのままで再生できます。

CDの取り扱いかた

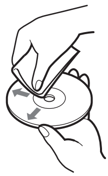
- 文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

MDの取り扱いかた

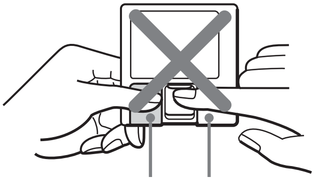
MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことをご注意ください。

次のページへつづく

使用上のご注意（つづき）

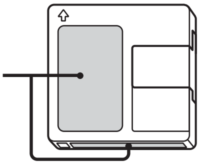
内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを無理に開けようとすると、こわれることがあります。シャッターが開いてしまった場合はすぐに閉めてください。



ラベルは所定の場所に貼ってください

MDに付属のラベルは、シャッターの周りなど所定以外の場所には貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。所定以外の場所に貼ると、ディスクが取り出せなくなることがあります。

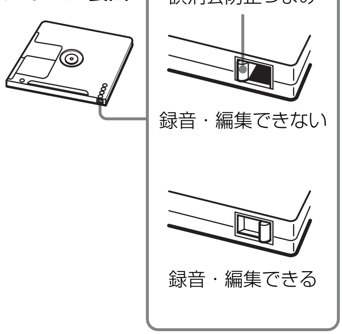


MDのお手入れのしかた

定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。

録音内容を間違って消さないために

誤消去防止つまみをずらして、孔の開いた状態にします。
再び録音するときは、つまみを元に戻します。



主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウフラッター	測定限界以下（JEITA*）
周波数特性	20～20,000Hz+1/−2dB（JEITA）

MDプレーヤー部

型式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調光学方式
再生読み取り方式	非接触光学読み取り（半導体レーザー使用）
レーザー	GaAlAsMQWダイオード（λ＝790nm）
録音再生時間	HMD1G（1GB）使用時： ステレオ最大34時間（Hi-LP） MDW-80をHi-MDモードで使用時： ステレオ最大 10時間10分（Hi-LP） MDW-80をMDモードで使用時： モノラル最大 160分（再生のみ） ステレオ最大 320分（LP4）
回転数	約350rpm～3,600rpm（CLV）
エラー訂正方式	Hi-MD： LDC (Long Distance Code)／BIS (Burst Indicator Subcode) MD： ACIRC (Advanced Cross Interleave Reed Solomon Code)
サンプリング周波数	44.1kHz

コーディング	Hi-MD： リニアPCM (44.1 kHz/16 bit) — PCM ATRAC3plus (Adaptive TRansform Acoustic Coding 3 plus) — Hi-SP/Hi-LP MD： ATRAC ATRAC3 — LP2/LP4
変調方式	Hi-MD： 1-7RLL (Run Length Limited)/PRML (Partial Response Maximum Likelihood) MD: EFM (Eight to Fourteen Modulation)
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	20〜20,000Hz+1/−1dB
ワウフラッター	測定限界以下

スピーカー部

型式	2 wayパッシブラジエータ型
使用スピーカー	フルレンジ： 直径80mm防磁型 トゥイーター： 直径25mm防磁型 パッシブラジエーター： 80 mm
インピーダンス	4Ω
定格入力	12W
最大外形寸法	約96×163×193mm （幅×高さ×奥行き） （最大突起部を含む） （JEITA）
質量	約1.9 kg
実効出力	10W+10W

共通部

入出力端子	USB
出力端子	PHONES（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16〜68Ω SPEAKER OUT（モノラルミニジャック）L、R各1個
電源	本体 家庭用電源（AC100V 50/60Hz） リモコン部 リチウム電池　1個使用（DC3V）
消費電力	20W
最大外形寸法	約80×226×231mm （幅×高さ×奥行き） （最大突起部を含む） （JEITA）
質量	約1.1kg

使用可能なディスク

CD-ROM、CD-ROM XA、Photo CD、CD-DA、CD-RW、CD-R、ビデオCD、CD Extra、CD TEXT、CD-I

ディスク径　12 cm／8 cm

別売りアクセサリー

ステレオヘッドホン
MDRヘッドホンシリーズ

本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではHi-MDデスクトップオーディオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

解説

ここでは、ミニディスクについての技術用語やシステム上の制約について解説します。

Hi-MDとは

Hi-MDとは、新しいミニディスクのフォーマットです。
従来のミニディスクから、ディスクの記録方式を変え、更に長時間の録音が可能になりました。また、パソコンの外部機器として、音楽データ以外のデータ（例えば、テキストデータや画像データ）もミニディスクに記憶することができるようになりました。

ATRAC3plusとは

ATRAC3plusとは、ATRAC3を更に発展させたオーディオ圧縮技術です。
これまでのATRAC3（本機のLP2/LP4ステレオモード）の圧縮率が、CDの1/10だったのに対し、ATRAC3plus（本機のHi-SP/Hi-LPステレオモード）はCDをベースに比較すると、1/20という高い圧縮率かつ高音質を実現しています。

Hi-MDモードとMDモードとは

本機は「Hi-MDモード」と「MDモード」の2つのモードを持ち、挿入されたディスクのモードを自動的に判別します。ブランクディスクが本機に挿入されたときは、どちらのモードで録音するかを選択することができます（Hi-MD規格専用1GBディスクを除く）。
メニューのディスクモードの設定（66ページ）を「Hi-MD」または「MD」に設定して録音してください。

リニアPCMとは

デジタル圧縮しない音声記録方式です。この方式で録音すると、CDと同じ音質を楽しむことができます。

「システムファイル」とは

音声以外の情報を記録するミニディスク上の領域です。
どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。
録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などの際、ミニディスクレコーダーはシステムファイルの書き換え作業を行います（この間は表示窓に「システムファイルの書込み中です」（「SYSTEM FILE WRITING」）が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

Net MDとは

OpenMGとMagicGateによる高度な著作権保護技術を用いて、パソコンとMD機器をUSB（Universal Serial Bus）ケーブルで接続し、パソコンの音楽データをMD機器に高速転送することができるフォーマットです。
MDへの記録方法は、従来から変更がないため、既存のディスクが使用でき、記録された音楽データは、既存のMD機器*で再生可能です。
パソコン上のSonicStageでは、様々な編集操作や漢字やひらがなを含めた文字入力が簡単に行なえます。
*LPモードで転送した場合は、MDLP対応機器のみ

MDLPとは

本機は、従来の音声圧縮技術「ATRAC : Adaptive TRansform Acoustic Coding」に加え、「ATRAC3 : Adaptive TRansform Acoustic Coding 3」を採用しています。この技術は、聴覚心理学に基づいて人の耳には聞こえない音をカットし、音楽データを約1/10に圧縮します。これにより、録音時間を従来の2倍、または4倍に拡張するMD長時間録音モード「MDLP : Mini Disc Long-Play mode」が可能です。80分ディスクの場合、LP2モードで約160分、LP4モードで約320分の録音・再生ができます。

MDのシステム上の制約について

MDは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間に達していなくても、「Disc Full」が表示される。

2,047曲（Hi-MDモード）、254曲（MDモード）録音されるとそれ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

曲数にも録音時間にも余裕があるのに「Disc Full」が表示される。

同じディスクで録音、消去を繰り返すと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは、曲の区切り（1曲）と同じ扱いになり、データが全部で2,047個（Hi-MDモードでお使いのディスクの場合）または254個（MDモードでお使いのディスクの場合）になると、録音できなくなります。
さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

次のページへつづく

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下（ステレオ録音時）、24秒以下（LP2ステレオ録音）、または48秒以下（LP4ステレオ録音時）の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

曲をつなげない。

つなごうとする曲のデータがディスク上に分散しており、それぞれのデータの長さが短いとき*、その曲のトラックマークを消して前の曲とつなぐことができない場合があります。また、異なる録音モード（例えば、リニアPCMとHi-SPなど）で録音された曲の間のトラックマークを消すことはできません。

* データの長さが次のような場合、曲をつなぐことができないことがあります。

	録音モード	データの長さ
Hi-MDモードの場合	リニアPCMステレオ Hi-SPステレオ Hi-LPステレオ	9秒以下 8秒以下 32秒以下
MDモードの場合	SPステレオ LP2ステレオ LP4ステレオ	12秒以下 24秒以下 48秒以下

ディスクに録音した時間と残りの時間の合計が、最大録音可能時間に一致しない場合がある。

通常、録音はステレオ録音時で約2秒、LP2ステレオ録音時で約4秒、LP4ステレオ録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒（4秒または8秒）に満たない場合でも約2秒（4秒または8秒）分のスペースを使います。また、録音を止めたあとまた録音を始めるときは、録音を始めたところで約2秒（4秒または8秒）分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）短くなります。

ディスクの録音残り時間が、録音したい曲の総再生時間と同じでも、最後まで録音できないことがある。

Hi-SPでは約2秒、Hi-LPでは約8秒を録音時の最小単位としてディスクに記録します。
録音を止めたところでは、記録の最後の部分が最小単位に満たない場合でも最小単位分のスペースを使います。
このため、実際の録音に必要な時間は、曲の再生時間よりも長くなります。特に、多くの曲を録音するときは、録音したい曲の総再生時間とディスクの録音残り時間が同じ場合、最後まで録音できないことがあります。録音残り時間にご注意ください。

編集した曲を再生、または早送り、早戻しするときに音が途切れることがある。

短い曲がディスクの上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

一度高速録音した曲は、74分間は再び高速録音できない（HCMS:ハイスピードコピーマネージメントシステム）。

ある曲を高速録音すると、録音を始めた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。
一度高速録音した曲を74分以内に高速録音しようとすると、通常の速度で録音されます。
一枚のCDの中に何曲か高速録音した曲がある場合は、その曲だけが通常の速度で録音されます。

デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて（シリアルコピーマネージメントシステム）

デジタルオーディオとは、音声信号を数値（デジタル）でやりとりするオーディオ機器です。コンパクトディスク（CD）、ミニディスク（MD）、デジタルオーディオテープ（DAT）などがこれにあたります。
これらは音楽を手軽に、ほとんど劣化なしでコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。「シリアルコピーマネージメントシステム」です。
本機の設計はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

デジタル信号同士のコピー*は1世代まで

原則1

市販のデジタル音楽ソフトのコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

原則2

市販のアナログ音楽ソフト（アナログレコードやミュージックカセットテープ）や公共放送を録音したもののコピーは作れるが、コピーのコピーは作れない。

MDプレーヤーのアナログ出力端子同士をつないで録音した場合のように、デジタル信号をアナログ信号にして録音した場合はこの原則に当たりません。

* コピーとはここでは「デジタル信号をデジタル信号のまま録音したもの」を指します。

ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

その他

索引

五十音順

アルファベット順

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

●ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/support-pa/）

本機に関する最新サポート情報や、お問い合わせが多い質問とその回答をご案内しています。

●電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記電話・FAX番号）

- 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ウォークマン]です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：LAM-X1
    - 製造（シリアル）番号：記載位置は別紙「カスタマー登録のお願い」を参照
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日
  - ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    - ソフトウェアのバージョン：
    - お使いのパソコン（メーカー名/型名）：
    - パソコンにインストールされているOS名：
    - メモリ容量／ハードディスクの空き容量：
    - CD-ROMドライブの型名／種類（外付けまたは内蔵）：
    - エラーメッセージ（エラーメッセージが表示された場合）：

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ･･････････ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は･･･03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ････････････････････ 0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Hi-MD
デスクトップオーディオ
LAM-X1
T10-1001A-2

「お問い合わせ窓口のご案内」については、裏をご覧ください。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川6-7-35
Printed in Japan

* 2 0 2 4 5 5 8 0 3 * (1)